消防概要

令和3年版



『いせ咲く。』 ~共に歩む 未来創生都市~

伊勢崎市消防本部

はじめに

この概要は、令和2年及び令和3年4月1日現在における伊勢崎市消防本部管内の現勢 と消防諸般の事項を収録し、当消防本部の実態を広く紹介するとともに、今後の消防行政 の合理的な運営に資するために編集したものです。

本書をご高覧いただき、消防行政に対するご理解をいただくとともに、防災思想の高揚 を図るためご活用いただければ幸いに存じます。

令和3年7月

伊勢崎市消防本部

令和2年1月~12月 管内で発生した災害件数

火 災 救 急 82件

狄 忌

10,457件

救 助

120件

目 次

◇ 一般概要	
位置と地勢	
管内の面積・人口・世帯数	
消防の沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
消防署配置図	
消防の組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
庁舎の位置・概要	
歴代の消防長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
◇ 総 務	
職員の配置状況	
職員の階級別年齢状況	
職員の階級別勤続状況	
教育訓練・研修等実施状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
職員特殊技能資格取得表	
令和2年度職場衛生管理状況	
令和3年度一般会計当初予算	
令和3年度消防費予算額	
予算と人口、世帯数との比較(過去5年間)	
伊勢崎市消防費決算額(過去5年間)	
◇ 予 防 /本容分析(m)	
〈查察対象物〉	
査察対象物の現況 中京図建築機構業 (4.5は N. I.)	
中高層建築物棟数(4階以上) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
査察対象物の立入検査状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
各種届出等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
〈建築・設備〉 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
建築同意事務処理の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
計画通知事務処理の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
建築通知事務処理の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
月別建築同意件数 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
査察対象物の検査状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
防火対象物定期点検及び防災管理	
〈危険物〉	
危険物製造所等の設置状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
AND WELL WITH WITH WELL WITH WELL WITH WELL WITH WELL WITH WELL WITH WELL WITH WITH WELL WITH WH	
危険物製造所等施設数及び事業所数の推移	

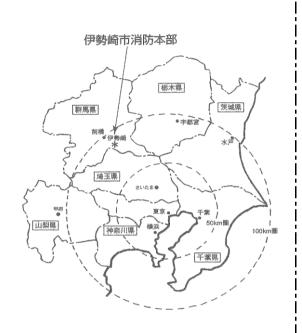
◇ 警 防

〈消防救助〉	
消防隊出動状況	
高速自動車国道等出動状況(救急・火災・救助・支援出動)	
火薬類(煙火)消費許可·水防訓練 ······	
水防倉庫資器材備蓄一覧表	
応援協定	
救助活動概要	
救助活動の推移(過去10年間) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
事故種別救助活動状況	
事故種別発生場所別出動件数	
〈指揮調査〉	
火災の概況	
指揮活動・指揮隊出動内訳	
火災の概況(令和元年・令和2年比較) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
市町別出火状況	
火災状況の推移・火災件数の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
火災件数 (建物・車両・その他の火災の推移)	
出火原因	
火災による死傷者	
署•分署別火災発生状況	
〈装備・施設〉	
消防車両等現有配置状況	
消防車両一覧表	
装備品一覧表	
消防水利施設現況・年度別新設消火栓現況・消防水利整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• • • •
A 194 A	
◇ 救 急	
救急概要	
救急出動件数の推移	
市町別救急出動件数の推移(過去10年間)	
救急活動概要	
救急隊別出動状況	
発生市町別救急出動件数	
発生市町別救急搬送人員	
現場到着までの所要時間	
病院収容までの所要時間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
月別救急出動件数	
曜日別救急出動件数	
時間別救急出動件数	
救急隊員の行った応急処置件数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• • • •
* · = · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
事故種別年齡区分別搬送人員	
事故種別年齢区分別搬送人員	

◇ 通信指令

通信指令系統図	70
高機能消防指令センターシステム系統図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	71
無線通信設備一覧	72
119番通報受信状況	73
災害情報案内テレホンサービス利用状況	73
火災情報メール配信サービス利用状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	73
救急病院等案内テレホンサービス利用状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	74
救急病院等案内テレホンサービス科目別案内状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	74
気象情報発表状況	75
◇ 消防音楽隊	
音楽隊編成表・歴代の音楽隊長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	76
派遣状況の推移	77
令和 2 年度派遣状况	77
◇ 消防団	
伊勢崎市消防本部管轄区域の消防団現況配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	78
伊勢崎市消防団の沿革	79
伊勢崎市消防団組織表	82
伊勢崎市消防団車両一覧表	84
伊勢崎市消防団ポンプ車等の配備状況及び現有台数	85
伊勢崎市消防団無線配備一覧表	86
伊勢崎市消防団資機材配備一覧表	86
伊勢崎市消防団員年齢別状況	87
伊勢崎市消防団員階級別在団年数状況	87
伊勢崎市消防団員の職業構成別状況	87
伊勢崎市消防団員の就業形態別状況	87
伊勢崎市消防団出動状況	87
伊勢崎市消防団充足率	87
◇ 消防関係団体	
消防関係団体の現況	88
女性防火クラブの現況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	89
	89

一般概要



-----位 置 と 地 勢

当消防本部は群馬県平野部のほぼ中央に位置し、 首都東京から西北方約100km圏内にあり諸機能の集 積した前橋地区、太田地区および高崎地区とともに 有機的な関連をもちつつ、これらの都市群の一角を 形成し首都圏整備法に基づく広域都市開発区域とし て北関東における大規模都市建設の開発拠点となっ ている。

地勢は、北部に標高150m~170mの丘陵が散在しているが、北部から、南東に向かって、約150分の1のきわめてゆるやかな勾配で平坦部が展開しており、丘陵地帯は、管内の僅か1.0%に満たない状況である。

また、地質は、西部から南部を流れる利根川、中部の広瀬川、粕川、東部を流れる早川などを中心に、沖積層が広がっており、洪積層にはさまった形で分布している。

なお、北方正面には赤城山がそびえ、西方には、 榛名山をはじめ、上信越連峰が望見される環境であ るため、冬は「上州名物からっ風」などと俗称され る赤城おろしが強く、また夏には雷も激しい。

管内の面積・人口・世帯数

	面積(k㎡)	令和2年4	月1日現在	令和3年4	月1日現在	人口伸び率(%)
		人口(人)	世帯数	人口(人)	世帯数	(前年度比)
伊勢崎市	139.44	213,167	91,245	212,946	92,487	-0.0010
玉 村 町	25.78	36,312	15,541	36,211	15,780	-0.0028
合 計	165.22	249,479	106,786	249,157	108,267	-0.0013

消 防 の 沿 革

	沿	革 ●協定 ■訓練	施設・車両・通信等整備
昭和18年	3月	・伊勢崎市警防団常備消防部を開設。	たる。(部員14人・自動車ポンプ2台)
昭和22年	12月	伊勢崎市警防団を伊勢崎市消防団は	こ改称する。
昭和28年	9月	伊勢崎市消防団常備消防部が救急	巻務を開始する。
昭和29年	11月	・伊勢崎市消防団常備消防部を廃し、	伊勢崎市消防本部・消防署を開設する。
		(職員31人・速消車2台・救急自動	
昭和30年	9月	• 消防用無線電話(短波)場	長備設置(基地局1台・移動局1台・受信機33機)
		≪市長1・消防幹部5・消	∮防団詰所25・水源地1・東電1≫
昭和32年	8月	・境町消防団常備消防部を開設する。	(部員2人・速消車1台)
昭和40年	3月	• 超短波無線電話装置配備	前(基地局1台・救急自動車)
昭和41年	4月	・玉村町は町役場職員により救急業務	後を開始する。
	12月	• 超短波無線電話装置配備	前(1号車・3号車)
昭和42年	3月	超短波無線電話装置配值	前(2号車・化学車・指令車)
	4月	・境町消防団常備消防部を廃し、境町	丁消防本部・消防署を開設する。
			(職員28人・速消車1台・普通車1台)
	12月	・境町消防本部が救急業務を開始する	5.
昭和44年	1月	・伊勢崎市が赤堀村・東村の救急業務	客を受託する。
昭和45年	2月	【施設】伊勢崎市消防庁会	き(後に広域消防本部庁舎)起工
昭和46年	3月	・伊勢崎佐波消防組合発足に伴い、信	中勢崎市消防本部・境町消防本部を解散する。
	4月	・伊勢崎佐波消防組合を発足する。	
	11月	【車両(新規)】連絡車	(伊勢崎消防署)
	12月	【車両(新規)】スノーク	アル車(伊勢崎消防署)
昭和47年	3月	【施設】伊勢崎消防署北分) 署庁舎・国定・境・玉村消防署が新築完成する。
	4月	・国定消防署・玉村消防署・伊勢崎沿	当防署北分署が業務を開始する。
		・消防職員46人増員する。 (職員数	女138人)
		(消防本部19人・伊勢崎消防署4]	人・北分署13人・国定消防署19人・
			境消防署29人・玉村消防署17人)
		【車両(新規)】水槽付剂	当防ポンプ自動車・普通消防ポンプ自動車・連絡車 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
			(伊勢崎消防署北分署)
		【車両(新規)】水槽付剂	当防ポンプ自動車・救急自動車・連絡車(国定消防署・玉村消防署) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	5月	【車両(新規)】水槽付剂	当防ポンプ自動車(境消防署)
	8月	【車両(新規)】乗用車	(消防本部)
	, ,	・伊勢崎佐波消防組合を解散する。	
	10月	伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備総	
昭和48年	2月	【車両(新規)】広報車	
			び・伊勢崎中央ライオンズクラブより寄贈≫
	3月	・救急一斉指令装置配備	
		・消防職員9人増員する。(職員数1	
	7月		か車(玉村消防署)≪群馬県農業共済協同組合連合会より寄贈≫
	8月		加車(伊勢崎消防署北分署)≪日本消防協会より寄贈≫
	9月	【車両(新規)】救急自動	
		自動気象記録観測装置記	设置(伊勢崎消防署)

	10月	・伊勢崎消防署北分署が救急業務を開始する。
	11月	【車両(新規)】大型消火器積載車(境消防署)≪境ライオンズクラブより寄贈≫
昭和49年	4月	・消防職員4人増員する。(職員数145人)
	10月	【車両(新規)】乗用車(消防本部)≪伊勢崎佐波危険物安全協会より寄贈≫
昭和50年	4月	・消防本部総務課に消防団係を新設する。
	7月	■ 利根川水系連合水防演習が実施される。(八斗島ちびっこ広場)《建設省・関東1都6県共催》
	11月	【車両(新規)】連絡車(国定消防署)≪国定ライオンズクラブより寄贈≫
		【車両(新規)】水槽付消防ポンプ自動車(伊勢崎消防署)
	12月	● 大火災・その他特殊火災が発生した場合の被害を最小にする目的で、群馬県全域の11消防本部と
		相互応援協定を締結する。
昭和51年	2月	・防災通信の合理化(県波導入)のため、消防車用超短波無線基地局設置(消防本部)
	4月	・伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合消防団審議会を発足する。
		・消防職員5人増員する。 (職員数150人)
	11月	【車両(新規)】消防ポンプ自動車(伊勢崎消防署)≪日本損害保険協会より寄贈≫
	12月	● 特殊災害による被害を最小にする目的で、群馬・栃木隣接の5消防本部と相互応援協定を締結する。
		(桐生市・太田地区・館林地区・佐野地区・足利市)
昭和52年	2月	【装備】河川等における野火対策強化のため、可搬動力ポンプを配備する
		(伊勢崎消防署・境消防署)
	6月	【車両(新規)】広報車(伊勢崎消防署)
昭和53年	4月	・消防職員3人増員する。(職員数153人)
		【車両(新規)】連絡車(消防本部)
	9月	【車両(新規)】水槽付消防ポンプ自動車(伊勢崎消防署)
	11月	伊勢崎消防団の出場指令合理化を図るため緊急指令装置を設置する。
		(三郷・宮郷・豊受地区)≪2ヵ年継続事業≫
	12月	【車両(新規)】救急自動車(伊勢崎消防署)≪日本損害保険協会より寄贈≫
昭和54年	1月	【車両(新規)】広報車(境消防署)
	2月	【車両(新規)】乗用車(境消防署)≪境危険物安全協会より寄贈≫
	4月	・消防職員2人増員する。 (職員数155人)
	11月	伊勢崎消防団の出場指令合理化を図るため緊急指令装置を設置する。
		(殖蓮・伊勢崎北・南・茂呂・名和地区)≪継続2年次≫
昭和55年	4月	・消防職員2人増員する。(職員数157人)
		・救急医療情報システムを財団法人群馬県救急医療情報センターとの協定により運用開始する。
	6月	・住民サービスと通信業務を円滑にするため、テレホンサービスを開始する。
		【車両(新規)】広報連絡車(国定消防署・玉村消防署)
昭和56年	3月	【車両(新規)】30m級はしご付消防ポンプ自動車・化学消防ポンプ自動車Ⅲ型・救助工作車
		(伊勢崎消防署)
		【車両配置替え】スノーケル車(伊勢崎消防署→境消防署)
昭和57年	2月	【車両(新規)】広報車(消防本部)
	3月	【施設】伊勢崎消防署南分署庁舎及び救助訓練施設が新築完成する。
	4月	・消防職員11人増員する。(職員数168人)
		・伊勢崎消防署南分署が業務を開始する。
		【車両(新規)】水槽付消防ポンプ自動車・普通ポンプ自動車・救急自動車・広報車
	8月	【車両(新規)】救急自動車(伊勢崎消防署)≪日本消防協会を通じ日本船舶振興会より寄贈≫
	12月	【車両(新規)】広報連絡車(消防本部・伊勢崎消防署)

昭和58年	1月	【車両(新規)】水槽付消防ポンプ自動車(伊勢崎消防署北分署・国定・境・玉村消防署)
		【車両(新規)】救急自動車(国定消防署)
	3月	【車両(新規)】普通消防ポンプ自動車(伊勢崎消防署)
		【施設】境消防署庁舎・車庫を増改築する。
	9月	【車両(新規)】乗用車(消防本部)≪富士重工業㈱より寄贈≫
昭和59年	5月	■ 第6回両毛六消防本部合同特殊災害訓練を実施する。(伊勢崎市役所)
	11月	【車両(新規)】救急自動車(伊勢崎消防署北分署)《日本自動車工業会より寄贈》
昭和60年	3月	【車両(新規)】広報車(伊勢崎消防署北分署)
		【車両(新規)】広報車(国定消防署)≪国定ライオンズクラブより寄贈≫
		【車両(新規)】救急自動車(境消防署・玉村消防署)
	4月	・非常備消防に関する事務が組合の共同処理する事務から除かれ、消防団が市町村へ帰属する。
		・境町消防団の出場指令の合理化を図るため緊急指令装置を設置する。
	7月	■ 利根川水系連合水防演習が実施される。(八斗島ちびっこ広場)《建設省・関東1都6県共催》
	10月	【車両(新規)】水槽付消防ポンプ自動車(伊勢崎消防署)
		【装備(新規)】水難救助用アルミボート(伊勢崎消防署南分署)
昭和61年	4月	・消防職員1人増員する。(職員数169人)
		・群馬県消防学校へ職員を派遣する。 (昭和63年3月31日まで)
		● 関越自動車道の本庄から関越トンネル内県境間における災害を最小にする目的で、6消防本部と相互応
		援協定を締結する。
	11月	・消防本部警防課に通信指令係を新設する。
昭和62年	1月	【通信】広域消防の火災出場態勢を強化するため、出場区分を大幅に改正し、各無線局の呼出し
		を変更する。
		・広域管内における救急隊の多重出場に対処するため、出場区分を定める。
		【施設】国定消防署通信室を増改築する。
	10月	【施設】消防本部庁舎3階に通信指令室及び事務室を増築する。
	11月	【車両(更新)】普通ポンプ自動車BD-I型(国定消防署・境消防署)
		【車両(新規)】15m級はしご付消防ポンプ自動車(バスケット付)(境消防署)
昭和63年	2月	【通信】昭和62・63年度2ヵ年継続事業(国庫補助)として計画した消防緊急情報システム(Ⅱ
		型)のうち指令装置・無線統制台・自動出場指令装置及び電話交換機の設置が完了し、
		運用開始する。
	4月	【通信】群馬県防災行政無線を群馬県との協定により運用開始する。
	6月	【車両(新規)】広報車(消防本部・伊勢崎消防署・玉村消防署)
	9月	【車両(新規)】水槽付消防ポンプ自動車(伊勢崎消防署)
		【施設】玉村消防署庁舎を新築移転する。
	11月	【車両(新規)】マイクロバス(消防本部) 【東京(新規)】被名自動車(伊熱原派以盟)
	12月	【車両(新規)】 救急自動車(伊勢崎消防署)
亚比二年	 Ω ⊟	【車両(新規)】連絡車(境消防署)≪境町危険物安全協会より寄贈≫ 【拡乳】同党巡歴界東京と増み第六ス
平成元年	2月 3月	【施設】国定消防署車庫を増改築する。 【通信】消防緊急情報システム(Ⅱ型)のうち気象観測装置及び地図等検索装置の設置が完了
	3月	し、運用開始する。
	58	■ 第11回両毛六消防本部合同特殊災害訓練を実施する。(伊勢崎市文化会館)
	11月	■ 第11回回七八佰四年前6回行然火吉訓練を美施する。(伊努呵印文化云語) 【車両(更新)】広報車(境消防署)
	117	【車両(新規)】 資機材運搬車(伊勢崎消防署南分署)
	12月	【 年 四 (利 成) 】 貝 後 付
		・///EDX I TERVIZEDUL 声 LTDU ZUX IS LTD Y TLV 、 ID 安明 HEVL 石 刊 佐 平 Y 川 市 上 佐 に 牧野 y り ()。

平成2年	3月	【施設】境消防署に訓練塔1基を建設する。
		【車両(更新)】小型動力ポンプ付水槽車(3,4000)(玉村消防署)
	4月	・消防職員6人増員する。 (職員数175人)
		・警防課装備施設係を廃し、その事務を総務課経理係に包含する。
	8月	【車両(新規)】小型動力ポンプ付水槽車(10,0000)(伊勢崎消防署)
		■ 群馬県総合防災訓練が実施される。(八斗島ちびっこ広場)《群馬県・伊勢崎市共催》
	12月	【通信】救急出動の増加に伴い救急波無線を導入する。
平成3年	2月	【車両(更新)】広報車(消防本部)
	3月	【施設】東消防署庁舎が新築完成する。
		・デジタル式遠隔装置を導入する。
	4月	・消防職員4人増員する。(職員数179人)
		・東消防署が業務を開始する。
		【車両(新規)】水槽付消防ポンプ自動車(4,0000)・救急自動車・広報車
		・国定消防署を赤堀消防署に改称する。
	11月	【車両(更新)】水槽付消防ポンプ自動車(4,0000)(境消防署・玉村消防署)
平成4年	3月	【車両(新規)】照明車(6,000W)(伊勢崎消防署)
		【車両(更新)】救急自動車(伊勢崎消防署南分署)
	4月	・消防職員7人増員する。 (職員数186人)
	5月	【車両(新規)】乗用車(消防本部)≪恵工業株式会社より寄贈≫
	7月	【車両(更新)】広報車(伊勢崎消防署)
	9月	【車両(更新)】救急自動車(赤堀消防署)
	12月	・伊勢崎市高齢者向緊急通報システムを運用開始する。
平成5年	3月	【施設】伊勢崎消防署西分署庁舎が新築完成する。
	4月	・消防職員12人増員する。 (職員数198人)
		・伊勢崎消防署西分署が業務を開始する。【車両(新規)】水槽付消防ポンプ自動車(4,0000)・救急自動車
	7月	・東村オフトーク通信を東村との協定により運用開始する。
	12月	・玉村町オフトーク通信を玉村町との協定により運用開始する。
平成6年	1月	【車両(更新)】救急自動車(伊勢崎消防署北分署)
	2月	・応急手当講習会(普通救命講習会)の第1回目が行われる。
	3月	【車両(更新)】水槽付消防ポンプ自動車(4,000ℓ)
		(伊勢崎消防署・伊勢崎消防署南分署・赤堀消防署)
		【車両(更新)】水槽付消防ポンプ自動車(境消防署)
		・パソコンを導入し、業務の合理化を図る。
	4月	・消防職員5人増員する。 (職員数203人)
		・警防課通信指令係を廃し、通信指令課を新設する。(課長以下13人 指令1係・指令2係)
		・群馬県消防学校へ職員を派遣する。(平成8年3月31日まで)
	5月	・組合第1号救急救命士が誕生する。
	6月	・赤堀町防災無線を赤堀町との協定により運用開始する。
平成7年	2月	【車両(更新)】広報連絡車(高床式)(消防本部)、救助工作車Ⅱ型(伊勢崎消防署)、
		指令車(赤堀消防署)
		【車両(更新)】救急自動車(境消防署・玉村消防署)
	4月	・中隊制を係制に改める。
		・伊勢崎消防署に課制を敷き、救助1係・救助2係(各6人)を新設する。
	5月	■ 利根川水系連合水防演習が実施される。(八斗島ちびっこ広場)《建設省・関東1都6県共催》

1	6 目	● 群馬県緊急消防援助隊が発足する。
		● 研究系統制的援助は2000年2月 である。 【施設】消防本部庁舎の落雷対策工事を行う。
	эл	■ 第17回両毛六消防本部合同特殊災害訓練を実施する。(群馬県教育センター)
	10月	・ 定数条例を改定し、 203人が233人となる。
	10/1	【車両(新規)】広報連絡車(伊勢崎消防署北分署・南分署・西分署)
平成8年	2月	【車両(更新)】化学車Ⅱ型(伊勢崎消防署)
1 7700 1		【施設】赤堀消防署食堂等を増改築する。
	37,	【施設】伊勢崎消防署西分署・玉村消防署に訓練塔1基建設する。
	4月	・消防職員10人増員する。 (職員数213人)
	- / 4	・群馬県消防学校へ職員を派遣する。(平成9年3月31日まで)
	10月	
	12月	
平成9年		群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。(平成11年3月31日まで)
		● 火災・地震等大規模災害が発生した場合の人的・物的被害を最小にする目的で、利根川を挟み隣接する
		埼玉県児玉郡市広域市町村圏組合及び深谷市・岡部町共同事務組合と応援協定を締結する。
	3月	【施設】伊勢崎消防署北分署庁舎を新築移転する。(付帯設備 訓練塔)
		【車両(新規)】高規格救急自動車(伊勢崎消防署)
		【装備(新規)】高規格救急自動車導入に伴い、心電図受信装置を3病院
		(救急告示病院) に設置する。
		【車両(更新)】指令車2台(消防本部)、指令車(伊勢崎消防署・玉村消防署)
		【車両(新規)】資機材運搬車(消防本部)、普通ポンプ自動車(CD-I型9000水槽付)(東消防署)
	4月	・消防職員11人増員する。 (職員数224人)
		・本部次長制を廃止する。
		・消防本部予防課に予防係(3人)及び各消防署(各分署を除く)に救急1係、救急2係(各3人)を新設する。
	5月	● 地震・台風・水害・火災及び事故等の災害時に、群馬県防災航空隊の応援を受けることによって被害を
		最小にする目的で群馬県と応援協定を締結する。
	11月	【車両(更新)】普通ポンプ自動車(CD-I型9000水槽付)(赤堀消防署・境消防署)
		【車両(新規)】指令車(消防本部)≪柏井建設㈱より寄贈≫
平成10年	1月	● 火災・地震等の災害時に、消火用水の供給応援を受けることによって被害を最小にする目的で、コンク
		リートミキサー車を有する企業と応援協定を締結する。
	4月	・消防職員3人増員する。 (職員数227人)
		・群馬県消防学校へ職員を派遣する。 (平成12年3月31日まで)
	8月	【施設】赤堀消防署訓練場に照明灯を設置する。
	10月	【通信】携帯電話等からの119番通報システムを運用開始する。
平成11年	3月	【車両(更新)】40m級はしご付消防自動車(伊勢崎消防署)
		【車両(新規)】高規格救急自動車(伊勢崎消防署北分署)
	4月	・消防職員3人増員する。(職員数230人)
		・伊勢崎市役所農済行政部庶務課へ職員を出向させる。(平成14年3月31日まで)
	6月	【施設】玉村消防署訓練場に照明灯を設置する。
	11月	【施設】東消防署訓練場に照明灯を設置する。
平成12年	1月	・ダイヤルイン方式の運用を開始する。
	2月	
		盤、無線統制台、自動出動指定装置、指令伝達装置及び気象情報収集装置等の更新が完
		了し運用開始する。

		・群馬県知事特別功労表彰を受賞する。
		(群馬県消防大会において参加したアトラクション、寸劇「残月赤城山」が県知事に評価されたもの)
	3月	
	4月	・消防職員2人増員する。 (職員数232人)
		・火災調査課を新設する。(火災調査係 課長以下4人)【車両(新規)】火災調査車
		・群馬県総務部消防防災課へ職員を派遣する。 (平成14年3月31日まで)
		・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。(平成14年3月31日まで)
	11月	【車両(更新)】広報連絡車(消防本部)
平成13年	3月	【車両(新規)】高規格救急自動車(Ⅱ課程対応)(赤堀消防署)
		・イベント広報用のミニ消防車・超ミニ消防車を製作し運用を開始する。
	3月	・北関東自動車道開通に伴い、高速救急隊(北分署・10人を併任)を発足し運用開始する。
	4 月	・消防職員1人増員する。 (職員数233人)
		・定数条例を改正し、233人が242人となる。
	8月	【車両(新規)】高規格救急自動車(伊勢崎消防署北分署)
	10月	【車両(新規)】指令車(境消防署)
平成14年	3 月	【車両(更新)】水槽付消防ポンプ自動車(3,5000)(伊勢崎消防署北分署)
		【車両(更新)】高規格救急自動車(伊勢崎消防署南分署)
		【車両(更新)】高規格救急自動車(Ⅱ課程対応)(伊勢崎消防署西分署)
		【車両(更新)】小型動力ポンプ付水槽車(4,5000)(玉村消防署)
	4月	・消防職員2人増員する。 (職員数235人)
		・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。(平成17年3月31日まで)
		・伊勢崎市役所農済行政部庶務課へ職員を出向させる。(平成16年12月31日まで)
	10月	・消防本部・各署(分署)へインターネット接続用パソコンを導入し、運用開始する。
	11月	【装備(新規)】水難救助用水上バイク(境消防署)《境町ライオンズクラブより寄贈》
平成15年	2月	【車両(更新)】指令車(東消防署)、高規格救急自動車(玉村消防署)
	3月	【車両(更新)】火災調査車(火災調査課)、資機材運搬車(伊勢崎消防署南分署)
		【施設】赤堀消防署庁舎を新築移転する。
		・消防職員5人増員する。(職員数240人)
	9月	【装備(更新)】水難救助用パワーボート(伊勢崎消防署)
平成16年	2 月	【車両(更新)】高規格救急自動車(境消防署)
		・消防本部・伊勢崎消防署の一部に庁内ネットワークシステム(サーバ1台・パソコン30台)
	0 [を導入する。
	3月	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
		【車両(更新)】水槽付消防ポンプ自動車(3,5000)(東消防署)、乗用車(消防本部)
	4 🗆	【施設】火災調査課の消防本部庁舎移転に伴い改築する。
	4 月	・消防職員12人採用、前年度退職者12人。 (職員数240人)
	6. 🗆	・群馬県消防学校へ職員を派遣する。(平成18年3月31日まで)
	6月	
₩ 17左		・伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合が解散する。
平成17年	1月	・市町村合併により伊勢崎市消防本部に名称変更する。
		・佐波郡玉村町より消防事務(消防団・水利事務を除く)を受託する。
	1 🗆	【車両(更新)】マイクロバス(消防本部)
		・消防職員6人採用、前年度退職者4人。(職員数242人)
1	5 月	■ 利根川水系連合水防演習が実施される。(八斗島ちびっこ広場)《国土交通省・関東1都6県共催》

	12月	【通信】携帯電話直接受信システムを運用開始する。
平成18年	3月	【車両(更新)】指令車(伊勢崎消防署)
		【車両(更新)】災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(3,5000)(境消防署)
	4 月	・消防職員7人採用、市長部局より1人出向、前年度退職者11人。 (職員数239人)
		・消防本部警防課に救急救助係を新設し、消防係を消防安全係に名称変更する。
		・群馬県総務部消防防災課へ職員を派遣する。 (平成20年3月31日まで)
		・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。(平成21年3月31日まで)
	8月	【装備(新規)】潜水用具(伊勢崎消防署)、水難救助用ゴムボート(伊勢崎消防署南分署)
		【車両(新規)】牽引用トレーラー(伊勢崎消防署南分署)
	9月	【施設】伊勢崎消防署北分署に浴室等を設置する。
平成19年	1月	【施設(更新)】高圧ガス製造所内空気充填設備(30MPa対応コンプレッサー)(消防本部)
	3月	【施設(更新)】緊急出動灯(伊勢崎消防署)
		【車両(更新)】高規格救急自動車(伊勢崎消防署)、
		水槽付消防ポンプ自動車(3,5000)(玉村消防署)
		【車両(更新)】災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(2,0000)
		(伊勢崎消防署西分署・境消防署)
	4 月	・消防職員6人採用、前年度退職者5人。 (職員数240人)
	9月	【施設】赤堀消防署庁舎の浴室を増設する。
平成20年	2月	【車両(更新)】指令車(消防本部)、15m級はしご付消防ポンプ自動車(境消防署)
		【車両(更新)】災害対応特殊救急自動車(赤堀消防署)
	4 月	・消防職員11人採用、前年度退職者10人。 (職員数242人)
		・火災調査課を廃し、消防本部に指揮調査課を新設する。(指揮調査第1係、第2係)
		(課長 [総務担当が兼任] 以下 9 人)
		・群馬県消防学校へ職員を派遣する。(平成22年3月31日まで)
	9月	【施設】伊勢崎消防署寝室棟が完成する。(リースによる規格建築物)
平成21年	1月	【車両】40m級はしご付消防自動車のオーバーホールを実施する。 (伊勢崎消防署)
	2月	【車両(更新)】災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(伊勢崎消防署)
		【車両(更新)】高規格救急自動車(伊勢崎消防署北分署)
	4 月	· 消防職員16人採用、前年度退職者16人。 (職員数242人)
		・高崎市等広域市町村圏振興整備組合に消防救急無線共同整備に係る事務を委託する。
	10月	【通信】消防緊急通信指令施設(Ⅱ型)のうち指令装置、表示盤、指令伝送装置の改修及び統合
		型位置情報通知装置(携帯・IP電話)の設置が完了し、運用を開始する。
	12月	【車両(更新)】高規格救急自動車(東消防署)
平成22年	3月	【車両(更新)】水槽付消防ポンプ自動車(伊勢崎消防署南分署)
		【施設】伊勢崎消防署仮設訓練塔の建替を行う。
	4 月	・消防職員5人採用、前年度退職者5人。 (職員数242人)
		・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。(平成25年3月31日まで)
		・高崎市等広域消防局へ職員を派遣する。 (平成23年3月31日まで)
		【車両配置替え】普通ポンプ自動車(CD-I型900ℓ水槽付)《境消防署→伊勢崎市消防団本部》
		【車両配置替え】防火号≪伊勢崎市消防団本部→伊勢崎消防署≫
		【車両配置替え】水防車≪伊勢崎市消防団境方面隊本部→境消防署≫
	7月	【通信】統合型位置情報システム(NTT固定電話)の運用を開始する。
平成23年	2月	【車両(更新)】高規格救急自動車(伊勢崎消防署南分署)
		【施設】玉村消防署庁舎を増築する。

	3月	【施設】消防本部庁舎の耐震診断を業務委託する。
	4月	・消防職員8人採用、前年度退職者8人。 (職員数242人)
		・条例定数を改正し242人が260人となる。
	6月	【施設】伊勢崎消防署緊急車両車庫の壁面塗装工事を行う。(東日本大震災による災害復旧工事)
	8月	【車両(更新)】指令車(消防本部・赤堀消防署)
	10月	【車両(更新)】高規格救急自動車(伊勢崎消防署西分署)
平成24年	2月	【車両(更新)】高規格救急自動車(玉村消防署)
		【車両(更新)】救助工作車Ⅲ型(伊勢崎消防署)
		・消防水利(防火水槽)の一元管理を図るため、消防水利管理システムを構築する。
	3 月	【装備】緊急消防援助隊設備及び多数傷病者発生災害対応の強化を図るため、チューブ膨張式エ
		アーテント付属品(前室・エアコン等)を購入し、配備する。
		・高崎市等広域市町村圏振興整備組合との消防救急無線共同整備に係る事務委託を廃止する。
	4月	・消防職員12人採用、前年度退職者10人。(職員数244人)
		・毎月実施していたサイレンの定時吹鳴試験を、毎月1日の正午実施に変更する。
	8月	【通信】全国瞬時警報システム(J-ALERT)を整備し、運用開始する。
		【通信】市民向け災害情報メールの配信を開始する。
	11月	
		・消防本部庁舎敷地を拡幅する。(借用していた駐車場ほか5筆 1867.74㎡を取得)
平成25年	2月	【車両(更新)】指令車・指揮車(消防本部)・高規格救急自動車(境消防署)
		【車両(更新)】玉村消防署に指令車が更新配備される。
		● 大規模災害時における石油類燃料の供給に関する協定を藤本商事株式会社と締結する。
	3月	【施設】伊勢崎消防署西分署に女性職員用スペース設置工事を行う。
	4月	・消防職員16人採用、前年度退職者5人。 (職員数255人)
		・群馬県消防学校へ職員を派遣する。 (平成27年3月31日まで)
		・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。 (平成28年3月31日まで)
	9月	■ 群馬県総合防災訓練が実施される。(八斗島ちびっこ広場)《群馬県・伊勢崎市共催》
		【施設】消防本部車庫棟が完成する。(リース契約)
		【施設】消防本部庁舎建設工事を着工する。(平成27年2月27日まで)
	10月	【施設】伊勢崎消防署南分署の車庫シャッター設置工事を行う。
平成26年	1月	【車両(更新)】高規格救急自動車(伊勢崎消防署)
	3月	【車両(更新)】資機材運搬車(パワーゲート付)(境消防署)
		【車両配置替え】資機材運搬車≪境消防署→伊勢崎消防署南分署≫
		【通信】平成25・26年度2ヵ年事業として計画した消防救急無線デジタル化整備工事のうち移動
		局の車載型無線装置及び卓上型無線装置の設置工事、携帯型無線装置及び可搬型無線装
		置の配置が完了する。
	4 月	・消防職員16人採用、前年度退職者16人。 (職員数255人)
		・前年度退職者6人を再任用する。(再任用職員数6人)
		・伊勢崎消防署の各分署に救急1係・救急2係(各3人)を新設する。
平成27年	3月	【施設】平成25・26年度2ヵ年事業の消防本部庁舎が完成する。
		【通信】平成26年度事業として計画した消防救急無線デジタル化整備工事により基地局無線設備
		及び指令センターの整備が完了し、高機能消防指令センターの運用を開始する。
	4月	・消防職員9人採用、前年度退職者7人。 (職員数256人)
		・前年度退職者3人を再任用する。(再任用職員数3人)
		・指揮調査課に調査係を新設する。

	5 月	■ 利根川水系連合・総合水防演習が実施される。(境島村地先 利根川左岸177km付近)
		《主催・国土交通省、関東1都6県、伊勢崎市》
	6月	【施設】玉村消防署用地を拡幅する。(1546㎡を取得)
	9月	【施設】消防本部旧庁舎解体外工事を行う。
平成28年	1月	【施設】東消防署車庫棟塗装工事を行う。
		【車両(更新)】高規格救急自動車(赤堀消防署)
	3月	【車両(新規)】資機材運搬車(支援車Ⅱ型)(消防本部)
		【車両配置替え】水難救助用水上バイク≪境消防署→伊勢崎消防署南分署≫
		牽引用トレーラー≪境消防署→伊勢崎消防署南分署≫
		【車両配置替え】水難救助用ゴムボート≪伊勢崎消防署南分署→伊勢崎消防署≫
	4 月	・消防職員3人採用、前年度退職者2人。 (職員数257人)
		・前年度退職者2人を再任用する。(再任用職員数2人)
		・群馬県消防学校へ職員を派遣する。 (平成30年3月31日まで)
	11月	【施設】伊勢崎消防署南分署訓練塔木製パネル改修工事を行う。
平成29年	2月	【車両(更新)】広報連絡車(本部2)(消防本部)
		【車両(更新)】高規格救急自動車(伊勢崎消防署)
	3月	【施設】消防本部訓練塔が完成する。
	4月	・消防職員4人採用、前年度退職者2人。 (職員数259人)
		・前々年度退職者2人を再任用する。(再任用職員数2人)
		・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。 (平成32年3月31日まで)
	7月	【施設】伊勢崎消防署西分署空調設備機器等交換工事を行う。
		【施設】東消防署空調設備機器等交換工事を行う。
平成30年	1月	【車両(更新)】災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅱ型(伊勢崎消防署)
	3月	【水利】伊勢崎消防署南分署に耐震性貯水槽(潜函工法)40㎡を設置する。
	4月	・消防職員4人採用、前年度退職者4人。 (職員数259人)
		・前年度退職者1人を再任用する。(再任用職員数1人)
	5月	【車両(新規)】危険物安全協会車2号車(消防本部)≪危険物安全協会より寄贈≫
	7月	【車両(修繕)】38m級はしご付消防自動車のオーバーホールを実施する。(伊勢崎消防署)
	11月	【車両(修繕)】15m級はしご付消防ポンプ自動車のオーバーホールを実施する。(境消防署)
		【施設】伊勢崎消防署南分署車庫塗装工事を行う。
平成31年	1月	【施設】赤堀消防署訓練場舗装工事を行う。
	2月	
	3月	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
		・消防職員4人採用、前年度退職者5人。(職員数258人)
	. , 3	・前年度退職者1人を再任用する。(再任用職員数2人)
令和元年	7月	【装備(更新)】水難救助用ボート(境消防署)
13 1470 1	9月	【装備(更新)】水難救助ボート用船外機(境消防署)
	2月	【車両(更新)】災害対応特殊救急自動車(東消防署)
17 10 - 1	3月	【車両(更新)】広報連絡車(伊勢崎消防署北分署・南分署・西分署)
	O / J	【車両(更新)】指令車(本部3)(消防本部)
	4 ⊟	・消防職員7人採用、前年度退職者4人。(職員数260人 ※市役所出向者除く)
	7 /]	・前年度退職者3人を再任用する。(再任用職員数5人)
		・
		・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。(令和4年3月31日まで)
I		・ 奸肉界例火肌至豚、木木貝を抓進りる。 (下作4十3月31日まて)

		・伊勢崎市役所総務部安心安全課へ職員を出向させる(令和5年3月31日まで)
令和3年	1月	【車両(更新)】災害対応特殊救急自動車(伊勢崎消防署南分署)
	2月	【車両(更新)】災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型(伊勢崎消防署北分署)
	4 月	・消防職員5人採用、前年度退職者5人。 (職員数260人※市役所出向者除く)
		・前年度退職者3人を再任用する。(再任用職員数7人)
		・消防本部に救急課(救急指導係・救急管理係)を新設する。
		・指揮調査課について、組織を警防課に移管し廃止する。
		・警防課について、上記組織の移管(11人 指揮調査第1係・第2係)ほか、消防安全係を消防救助係に
		名称変更する。

消防署配置図

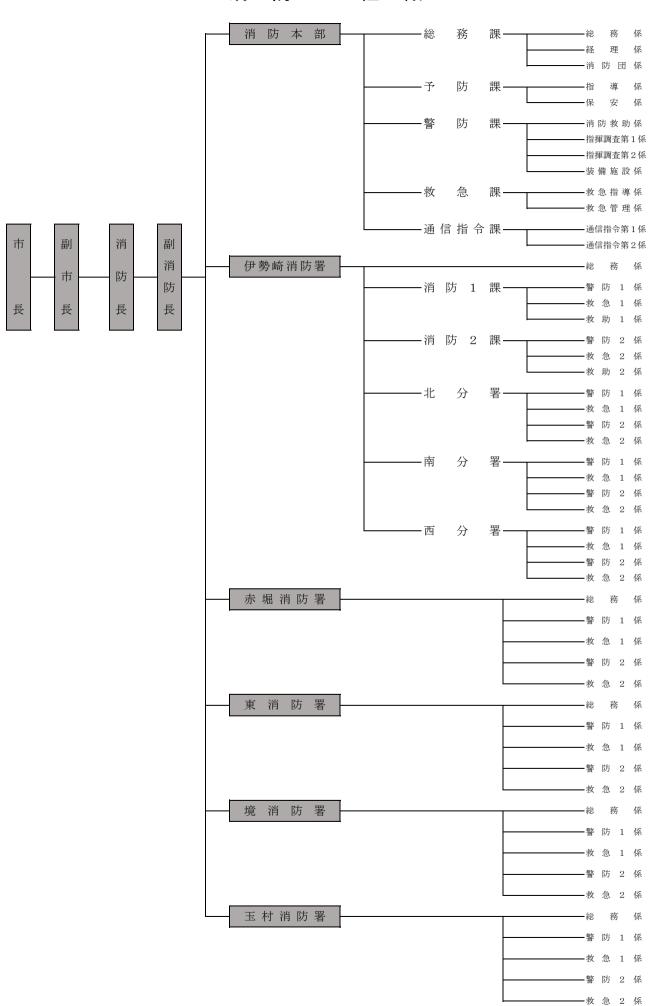


1台

1台

資機材運搬車

消 防 の 組 織



庁舎の位置・概要

名 称	位 置	建物面積・構造	敷地面積(㎡)	竣工年月日	工事費(千円)	電話・FAX(0270)	メールアドレス	
		鉄筋コンクリート造4階建		H27. 3	1, 197, 434	TEL 25-3511 (総)	sh-soumu@city.isesaki.lg.jp	
		延4398.33㎡				FAX 26-9995		
		屋内貯蔵所 鉄筋コンクリート造		H27. 3	3, 109	TEL 25-3311 (予)	yobou@city.isesaki.lg.jp	
		平屋建 17.39㎡				TEL 25-3916 (警)	keibou@city.isesaki.lg.jp	
						TEL 25-3933 (救)	kyukyu@city.isesaki.lg.jp	
消防本部	〒372-0031	車庫 鉄骨造平屋建 674.90 m²	7, 161, 92	H25 .9	83, 601	TEL 25-3510 (通)	tsushin@city.isesaki.lg.jp	
伊勢崎消防署	伊勢崎市今泉町二丁目895番地		7, 101. 92		(リース物件)	FAX 25-3613		
		駐輪場(南)アルミ造平屋建 22.42㎡		H27. 3	978			
		駐輪場(北)アルミ造平屋建 20.00㎡		H27. 9	5, 000	TEL 25-3918 (伊)	fd-isesaki@city.isesaki.lg.jp	
		訓練塔A 512.35㎡		H29. 3	197, 121	FAX 25-3650		
		訓練塔B 36.00㎡		H29. 3	32, 227	TEL 25-3920 (伊救)		
		訓練塔C 168.44㎡		H29. 3	50, 176			
伊勢崎消防署	〒372-0015	鉄筋コンクリート造2階建 延558.05㎡	2,000.00	Н 9. 3	168, 230	TEL 25-5247	fd-kita@city.isesaki.lg.jp	
北分署	伊勢崎市鹿島町429番地5	訓練塔 16.00㎡	2, 000. 00	Н 9. 3	6, 046	FAX 50-8198	ia-kita@city.isesaki.ig.jp	
伊勢崎消防署	〒372-0834	鉄筋コンクリート造2階建 延389.69㎡	2, 131. 42	S57. 3	72, 905	TEL 32-0062	fd-minami@city.isesaki.lg.jp	
南 分 署	伊勢崎市堀口町656番地1	訓練塔 60.00㎡	2, 131. 42	S57. 3	上記金額に含まれる	FAX 32-9695	ru-mmami@city.isesaki.ig.jp	
/n	- of o ooo	鉄筋コンクリート造平屋建 延443.67㎡		Н 5. 3	108, 716	TD1 01 1515		
伊勢崎消防署 西 分 署	〒372-0803 伊勢崎市宮古町89番地	器材倉庫 20.40 m²	3, 204. 00	Н 5. 9	3, 650	TEL 21-4545 FAX 50-8126	fd-nishi@city.isesaki.lg.jp	
		訓練塔 17.85㎡		Н 8. 3	5, 562			
		鉄筋コンクリート造2階建 延676.11㎡		H15. 3	178, 565			
赤堀消防署	〒379−2204	訓練塔 52.81㎡	4, 950, 00	H15. 3	14, 066	TEL 62-0230	fd-akabori@city.isesaki.lg.jp	
л, л <u>и</u> 16 Ю Д	伊勢崎市西久保町二丁目341番地3	危険物倉庫 3.97㎡	1, 300.00	H15. 3	787	FAX 62-0199	id akaborrecity.isesaki.ig.jp	
		器材倉庫 32.08㎡		H15. 3	946			
		鉄筋コンクリート造平屋建 延473.30㎡		Н 3. 3	106, 965			
東消防署	〒379−2234	危険物倉庫 4.00 m²	4, 200, 49	Н 3. 3	1, 100	TEL 62-8980	fd-azuma@city.isesaki.lg.jp	
水 旧 例 有	伊勢崎市東小保方町3238番地	器材倉庫 20.00㎡	1, 200. 13	Н 3. 3	2, 180	FAX 40-9167	id azumaeeny.isesaki.ig.jp	
		訓練塔 16.00㎡		Н 3. 3	4, 960			
		鉄筋コンクリート造2階建 延340.50㎡		S47. 3	14, 800			
	=070,0105	器材倉庫 9.10㎡		S49. 2	180	TDI 74 0010		
境 消 防 署	消 防 署 〒370-0125 伊勢崎市境萩原1753番地	危険物倉庫 3.25㎡	2, 751. 12	S49. 3	180	TEL 74-0012 FAX 74-0042	fd-sakai@city.isesaki.lg.jp	
	U 21: 4:11 240 004-1-1- pa - C	車庫 鉄骨造平屋建 323.76 m²		S58. 3	32, 300			
		訓練塔 16.00㎡		Н 2. 3	3, 553			
		鉄筋コンクリート造2階建 延699.18㎡		S63. 10	72, 500			
玉村消防署	〒370−1105	危険物倉庫 3.25㎡	4, 446. 00	S63. 10	上記金額に含まれる	TEL 65-2982	fd-tamamura@city.isesaki.lg.jp	
立作的有	佐波郡玉村町大字福島548番地1	訓練塔 17.85㎡	1, 110.00	Н 8. 3	5, 510	FAX 65-3157	ra-tamamura@city.isesaki.lg.jp	
				H23. 2	(庁舎増築) 34,784			

歴代の消防長

第 2 代 消 防 長 髙 柳 良 太 氏 (昭和47年10月~昭和50年3月)	
第 3 代 消 防 長 髙 橋 基 樹 氏 (昭和50年 4月~昭和51年3月)	
第 4 代 消 防 長 栗 林 啓三郎 氏 (昭和51年 4月~昭和53年2月)	
第 5 代 消 防 長 古 池 已之吉 氏 (昭和53年 3月~昭和53年6月)	
第 6 代 消 防 長 中 野 美津夫 氏 (昭和53年7月~昭和56年3月)	
第7代消防長 細井佐内氏 (昭和56年4月~昭和63年3月)	
第 8 代 消 防 長 古 部 三 郎 氏 (昭和63年 4月~平成元年3月)	
第 9 代 消 防 長 品 川 忠 弥 氏 (平成元年 4月~平成 4年3月)	
第 10 代 消 防 長 新 井 静 雄 氏 (平成 4年 4月~平成 6年3月)	
第 11 代 消 防 長 新 井 周 雄 氏 (平成 6年 4月~平成 9年3月)	
第 12 代 消 防 長 井 埜 宗 市 氏 (平成 9年 4月~平成10年3月)	
第 13 代 消 防 長 多 田 紀 一 氏 (平成10年 4月~平成13年3月)	
第 14 代 消 防 長	
第 15 代 消 防 長 栗 原 康 二 氏 (平成14年 4月~平成16年3月)	
第 16 代 消 防 長 田 村 映 氏 (平成16年 4月~平成18年3月)	
第 17 代 消 防 長 髙 橋 溥 氏 (平成18年 4月~平成19年3月)	
第 18 代 消 防 長 岡 田 充 博 氏 (平成19年 4月~平成20年3月)	
第 19 代 消 防 長 清 水 政 利 氏 (平成20年 4月~平成21年3月)	
第 20 代 消 防 長 田 島 武 雄 氏 (平成21年 4月~平成24年3月)	
第 21 代 消 防 長	
第 22 代 消 防 長 吉 田 純 一 氏 (平成26年 4月~平成27年3月)	
第 23 代 消 防 長 笠 原 仁 氏 (平成27年 4月~平成29年3月)	
第 24 代 消 防 長 小 島 輝 男 氏 (平成29年 4月~平成30年3月)	
第 25 代 消 防 長 大 澤 芳 夫 氏 (平成30年 4月~平成31年3月)	
第 26 代 消 防 長 五十嵐 博 充 氏 (平成31年 4月~令和 3年3月)	
第 27 代 消 防 長 鈴 木 義 人 (令和 3年 4月~	

総務



職員の配置状況

(令和3年4月1日現在)

										(行	予和3年4月	<u>1日現在)</u>
階級	8 別	合 		消 防 正	消防:	消防司令長	消防司。	消防司令台	消 防 士	消防副士	消防	そ の .:
配置別		計		監	監	長	令	補	長	長	士	他
条例定	数	260										
実	員	260	(7)	1	5	14	31	107	55 (7)	34	13	0
消防	長	1		1								
副消防	長	1			1							
消防本	部	56	(4)		2	5	10	30	8 (4)	1		
総務	課	10	(1)			1	3	6	(1)			
予 防	課	9	(1)		1		2	4	2 (1)			
警防	課	17			1	2	2	10	1	1		
救急	課	4	(2)			1		3	(2)			
通信指	令 課	14				1	3	5	5			
本 部	付	2						2				
伊勢崎消	防署	114	(1)		1	6	9	42	27	23	6	
伊勢峭	奇 署	57	(1)		1	3	3	19	15 (1)	13	3	
北分	署	19				1	2	7	3	6		
南分	署	19				1	2	7	4	3	2	
西分	署	19				1	2	9	5	1	1	
赤堀消防	署	20				1	3	8	4	3	1	
東消防	署	20				1	3	8	5	1	2	
境消防	署	24	(1)		1		3	8	7 (1)	3	2	
玉村消防	署	24	(1)			1	3	11	4 (1)	3	2	
											()は再任	. 田謡首

()は再任用職員

職員の階級別年齢状況

								(4	予和3年4月	1日現在)
階級別	合	消防	消防	消 防 司	消 防	消防司令:	消防	消 防 副	消防	その
年齢 別	計	正 監	監	防司令長	司令	令補	士 長	士長	±	他
総数	260 (7)	1	5	14	31	107	55 (7)	34	13	0
18 歳	1								1	
19 歳	2								2	
20 歳	1								1	
21 歳	2								2	
22 歳	4								4	
23 歳	4							3	1	
24 歳	5							4	1	
25 歳	4							3	1	
26 歳	4							4		
27 歳	8							8		
28 歳	4							4		
29 歳	13						7	6		
30 歳	10						9	1		
31 歳	7						7			
32 歳	7						7			
33 歳	12						12			
34 歳	13					4	8	1		
35 歳	8					7	1			
36 歳	10					8	2			
37 歳	6					5	1			
38 歳	8					8				
39 歳	5					5				
40 歳	7					7				
41 歳	4					4				
42 歳	9					9				
43 歳	6					6				
44 歳	10					10				
45 歳	8					8				
46 歳	13					13				
47 歳	7					7				
48 歳	8				5	3				
49 歳	9				6	3				
50 歳	4				4					
51 歳	7			2	5					
52 歳	4				4					
53 歳	7			2	5					
54 歳	1				1					
55 歳	4			4						
56 歳	3			3						
57 歳	5		4	1						
58 歳	0						4 /			
59 歳以上	5 (7)	1	1	2	1		1 (7)		()))	

()は再任用職員

職員の階級別勤続状況

									(全	和3年4月	1日現在)
	階級別	合	消	消	消	消	消	消	消	消	そ
			防	防	防 司	防	防司	防	防 副	防	の
		∌ 1.	正		令	司	司令	士	士		
年齢別		計	監	監	長	令	補	長	長	士	他
総	数	260 (7)	1	5	14	31	107	55 (7)	34	13	0
1	年未満	5								5	
1	年	7								7	
	年	3							3		
	年	4							4		
	年	4							3	1	
	年	3							3		
	年	8						3	5		
	年	15						8	7		
	年	15						12	3		
	年	12						9	3		
	年	8						6	2		
	年	4					1	2	1		
	年	16					8	8			
	年	11					6	5			
	年	6					5	1			
	年	7					7				
	年	4					4				
	年	9					9				
	年	8					8				
	年	6					6				
	年	5					5				
	年	5					5				
	年	4					4				
	年	5					5				
	年	12				4	12				
	年	11				4	7				
	年	0			1	5	2				
	年年	14			1	5	9				
	年	10			3	3	4				
	年	5			3	5	4				
	年年	7			1	6					
	年	2			1	1					
	年	2			2						
	年	3		1	2						
	年	2 (1)			2			(1)			
	年	2 (1)			1	1		(1)			
	年	1 (1)		1				(1)			
	年	0						(1)			
	年	4 (3)		3	1			(3)			
	年	0						(3)			
	年	3	1			1		1			
	年以上	0 (1)						(1)			
	, ,,,,,,,	I (2)	l .		l		l	(-/		L ()は再任	田聯号

()は再任用職員

教育訓練•研修等実施状況

消防大学校 (令和3年4月1日現在)

								(1	1 143 午4月	1 11 5/6/11/
課程	平成24年 度以前	25	26	27	28	29	30	令和元年度	2	合計
幹 部 科	6					1	1			8
上級幹部科	1									1
警 防 科	10							1		11
予 防 科	12		1							13
危険物科	1			1						2
救 急 科	5	1			1		1			8
救 助 科	5	1				1				7
トップセミナー	1									1
火災調査科	4			1				1		6
新任教官科	1									1
合 計	46	2	1	2	1	2	2	2	0	58

群馬県消防学校 (令和3年4月1日現在)

								\ \ \	1 JHO 1/1	
課程	平成24年 度以前	25	26	27	28	29	30	令和元年度	2	合計
初 任 科	253	12	12	12	11	5	4	4	7	320
予防査察科	65	2	3	3	3	3	4	4	4	91
危険物科	60	2	3	3	3	3	4	4	4	86
火災調査科	58	2	3	3	3	3	4	4	4	84
警 防 科	104	3	3	3	3	3	4	4	4	131
無線通信課程	96	3	3	1						103
救 助 科	75	2	2	2	2	2	2	3	2	92
救急Ⅱ課程	62									62
救 急 科	133	10	12	12	14	14	6	5	6	212
初級幹部科	23	2			2			2		29
中級幹部科	23		2			2				27
上級幹部科	6			2			2			10
はしご自動車課程	44									44
音楽課程	54									54
ポンプ操法指導員	58	5		5		5		5		78
気管挿管講習	14									14
救急隊長講習	8									8
ビデオ喉頭鏡講習	0	2	2	3	1	3	1			12
合 計	1136	45	45	49	42	43	31	35	31	1457

救急救命士

	平成24年 度以前	25	26	27	28	29	30	令和元年度	2	3
救急救命士数(人)		54	56	57	58	60	63	65	66	68
養成者数(人)	30	1	1	1	1	1	1	1	1	1

部内研修実施状況

(令和2年度)

研修種別	回数	人数	時間	場所	担当課
指導救命士修了者研修	6	169	2~3時間	各署・分署	救急課
作戦会議室研修	1	9	1 時間	消防本部	警防課
火災調査実務(副担当)研修	2	31	2 時間	消防本部	警防課
火災調査出前研修	10	72	2 時間	各署・分署	警防課
指揮研修	16	128	2 時間	各署・分署	警防課
チェーンソー作業簡易特別教育	2	14	2 時間	消防本部	総務課

部外研修実施状況

(令和2年度)

研修種別	人数	実施機関
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	2	(一社) 群馬労働基準協会連合会
玉掛け技能講習	2	(一社) 日本クレーン協会群馬支部
小型移動式クレーン運転技能講習	2	(一社) 日本クレーン協会群馬支部
小型船舶操縦士免許取得講習 (2級)	2	群馬県ボートライセンススクール
小型船舶操縦士免許取得講習 (特殊)	2	群馬県ボートライセンススクール
潜水士免許試験受験準備講習会	2	(一財) 安全衛生普及センター
伐木造材作業(チェーンソー作業)特別教育	2	林業・木材製造業労働災害防止協会群馬県支部
第35回危険物保安技術講習会(東京都)	1	危険物保安技術協会
共済基幹システム説明会 (前橋市)	4	(公社) 全国市有物件災害共済会関東地区事務局
自動車事故セミナー (東京都)	1	(公社) 全国市有物件災害共済会関東地区事務局
症例検証会(管内告示病院・2回)	29	伊勢崎地域メディカルコントロール協議会
ICLSプロバイダーコース(前橋市)	1	前橋赤十字病院・群馬県総務部消防保安課
群馬MCLSコース (前橋市)	1	前橋赤十字病院・群馬県総務部消防保安課
全国消防技術者会議(東京都)	1	消防研究センター
消防実務講習会(横浜市)	1	全国消防協会関東地区支部

職員特殊技能資格取得表

(令和3年4月1日現在)

मुक्ति देग वार्च										(市和3年4	月1日現在)
種別 階級別		消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計	
自	大型	1 種	1	5	14	31	104	62	31	3	251
動車	八空	2 種					1				1
免	自勇	力二輪車	1	4	4	16	37	19	8		89
許	特	殊 車		1			6				7
小	1	級				1	3				4
型船	2	級		1	6	15	44	15	3		84
舶	特	殊		1	5	18	32	10	2	1	69
	潜力	· ±		1		3	21	7	2		34
自	動車	ガソリン					2				2
整	修備士	ディーゼル					1				1
無	特	殊		4	12	33	104	52	45	7	257
線	アマチュア				4	8	3	1			16
ボイ	ラー技士	2 級					2				2
Jest.	序接 士	電気				5	5	2	1		13
)A	计 1女 上	ガス			1	6	8	4	1	1	21
	電気コ	事士	1		1	1	3	5			11
消	当 防	甲種	1				3	3	1		8
設	设備士	乙種		1	1	6	9	3			20
#	立険 物	甲種				1	1	1			3
)[乙種		1	6	18	50	17	4	6	102
<i>告</i>	生管理者	1 種				1					1
1年1年	工目/生1	2 種		2	3	4	6				15
	玉 掛			1	5	6	31	7	2		52
ク レ ー ン			1	5	7	31	7	2		53	
酸素	素欠乏危险	食作業主任者		1	3	9	38	4	1		56
毒	最 劇物取	扱主任者					4	1			5

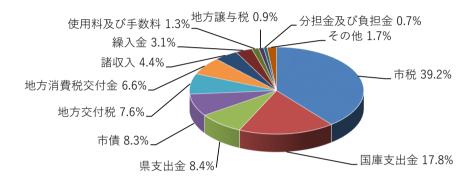
令和2年度職場衛生管理状況

	内	容		実 施 日	受診人数(人)	備考
				6/11 · 12	164	深夜業務従事者
健	康	診	断	12/16 · 17	116	全職員(ドック受診者除く)
				1/13	5	初任科入校予定者
人	間	ドッ	ク	指定日	175	日帰り・一泊・脳
B 型	上 肝 炎	予防力) 診	指定日	14	
流行	性ウイル	ス疾患予防	方検 診	指定日	57	麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘
衛生	管理規程	に基づく職場	易巡 視	7/28	巡視者:衛生委員、衛	生管理者、職員課職員

1. 令和3年度一般会計当初予算

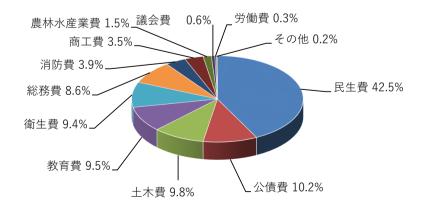
①歳入 (単位:千円)

		(十12:111)
歳入科目	本年度予算額	比率 (%)
市税	29,217,031	39.2
国庫支出金	13,247,103	17.8
県支出金	6,281,401	8.4
市債	6,151,000	8.3
地方交付税	5,700,000	7.6
地方消費税交付金	4,900,000	6.6
諸収入	3,294,688	4.4
繰入金	2,306,820	3.1
使用料及び手数料	941,134	1.3
地方譲与税	706,972	0.9
分担金及び負担金	487,134	0.7
その他	1,296,717	1.7
歳入合計	74,530,000	100



②歳出 (単位:千円)

目的別区分	本年度予算額	比率(%)
民生費	31,660,015	42.5
公債費	7,592,431	10.2
土木費	7,267,361	9.8
教育費	7,070,281	9.5
衛生費	7,021,834	9.4
総務費	6,427,042	8.6
消防費	2,881,893	3.9
商工費	2,606,953	3.5
農林水産業費	1,148,918	1.5
議会費	480,265	0.6
労働費	222,807	0.3
その他	150,200	0.2
歳出合計	74,530,000	100



2. 令和3年度消防費予算額

		-	\neg
	•		ш١
(単位		千	11/

市町名		区分	消 防 費 予 算 額 A	一般会計 予算額B	比率 A/B(%)
伊	勢崎	市	2,881,893	74,530,000	3.9
玉	村	町	509,173	11,700,000	4.4
合		計	3,391,066	86,230,000	3.9

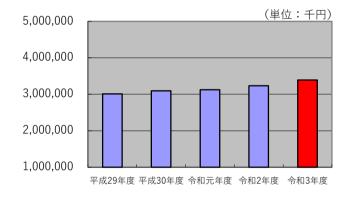
3. 予算と人口、世帯数との比較(過去5年間)

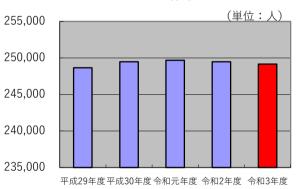
(4月1日現在)

区分	消 防 費	人口(受託均	地域を含む)	世帯(受託	也域を含む)
年度	当初予算額(千円)	人口	1人当たり(円)	世帯数	1世帯当たり(円)
平成29年度	3,009,432	248,648	12,103	101,648	29,606
平成30年度	3,095,443	249,466	12,408	103,699	29,850
令和元年度	3,124,110	249,680	12,512	105,448	29,627
令和 2年度	3,233,142	249,479	12,960	106,786	30,277
令和 3年度	3,391,066	249,157	13,610	108,267	31,321

消防費当初予算額推移

人口推移





4. 伊勢崎市消防費決算額(過去5年間)

(畄位・田)

					(+ 1\psi + 1 1)
年度別	常 備 消 防 (人件費含) 決 算 額	非常備消防費決 算 額	消防施設費 決 算 額	水 防 費 決 算 額	合 計
平成28年度	2,127,349,881	158,009,053	443,382,033	796,472	2,729,537,439
平成29年度	2,221,292,470	159,467,425	178,312,705	1,272,832	2,560,345,432
平成30年度	2,238,992,185	154,778,791	183,829,918	665,799	2,578,266,693
令和元年度	2,285,766,014	153,057,919	150,948,448	1,156,783	2,590,929,164
令和 2年度	2,285,034,650	149,860,775	227,973,682	643,469	2,663,512,576

予防



ホテルに対する表示マーク(金)交付式

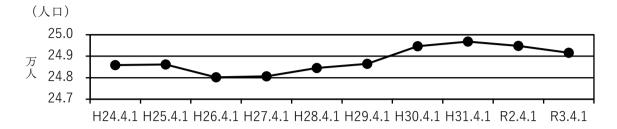
おうち時間 家族で点検 火の始末 (令和3年度全国統一防火標語)

事故ゼロへ トライ重ねる ワンチーム (令和3年度危険物安全週間推進標語)

査 察 対 象 物

管内における査察対象物の動向は、昨年に引き続き、高齢化社会の進展に伴い、高齢者福祉施設等が増加傾向にあります。また、幹線道路等の整備等により大型物流倉庫が増加傾向にあります。

管内人口の推移と査察対象物の状況



(対象物数) 8,000 7,955 7,900 7,800 7,700 7,747 7,736 7,731 7,678 7,600 7,639 7,647 7,590 7,570 7,563 7,500 7,400 7,300 H24.4.1 H25.4.1 H26.4.1 H27.4.1 H28.4.1 H29.4.1 H30.4.1 H31.4.1 R2.4.1 R3.4.1



給油取扱所の地下タンク据付検査

査察対象物の現況

(令和3年4月1日現在)

項別	—— 引	市町村別	伊勢崎市	玉村町	合計
1	イ	劇場・映画館等	9		9
1	口	公 会 堂 · 集 会 場	76	12	88
	イ	キ ャ バ レ ー ナ イ ト ク ラ ブ 等	26		26
2	口	ダンスホール・遊技場	35	4	39
۷	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	11	カラオケボックス等	9		9
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等	2		2
3	口	飲食店	176	11	187
4	百	貨店・マーケット等	444	36	480
5	イ	旅館・ホテル等	79		79
J	口	共 同 住 宅 等	1,192	110	1,302
	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	165	21	186
6	口	老人短期入所施設等	133	22	155
O	ハ	老人デイサービス等	187	35	222
	11	幼稚園・特別支援学校	34	2	36
7	小•	・中・高・大学・各種学校等	155	46	201
8	図	書館等	4		4
9	イ	サウナ浴場等	3		3
9	口	公 衆 浴 場 等	2		2
10	車	両 · 停 車 場 等	3		3
11	神	社 ・ 教 会 等	50	3	53
12	イ	工場・作業場	1,858	264	2,122
12	口	映画・スタジオ等			
13	イ	車 庫 ・ 駐 車 場 等	61	12	73
10	口	格 納 庫 等	1		1
14	倉	庫	1,315	230	1,545
15	事	務所等	591	92	683
16	イ	複合用途防火対象物 (特定)	256	19	275
10	口	複合用途防火対象物(上記以外)	124	28	152
17	重	要文化財等	17	1	18
		合 計	7,007	948	7,955

中高層建築物棟数(4階以上) () 内数字は11階以上又は高さ31mを越える査察対象物数

(令和3年4月1日現在)

		市町村別		(令和3年4	
項	別	1月四十分万月	伊勢崎市	玉村町	合 計
1	イ	劇場・映画館等	1		1
1	口	公 会 堂 · 集 会 場	3		3
	イ	キ ャ バ レ ー ナ イ ト ク ラ ブ 等	1		1
2	口	ダンスホール・遊技場	1		1
۷	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	=	カラオケボックス等			
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等			
3	口	飲食店			
4	百	貨店・マーケット等	6		6
5	イ	旅館・ホテル等	12(2)		12(2)
J	口	共 同 住 宅 等	175(7)		175(7)
	イ	病院 • 診療所等	8(1)		8(1)
6	口	老人短期入所施設等	3		3
	ハ	老人デイサービス等	3		3
	1	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校	1		1
7	小•	中・高・大学・各種学校等	14(1)	2	16(1)
12	イ	工場・作業場	10	2	12
12	口	映画・スタジオ等			
13	イ	車庫・駐車場等	2		2
10	口	格 納 庫 等			
14	倉	庫	2		2
15	事	務 所 等	28(1)	3	31(1)
16	イ	複合用途防火対象物 (特定)	28(4)	2	30(4)
10	口	複合用途防火対象物(上記以外)	10	2(1)	12(1)
		合 計	308(16)	11 (1)	319(17)

11階以上	8	1	9
10階	4		4
9 階	3		3
8階	4		4
7 階	11		11
6 階	26	2	28
5 階	51		51
4階	201	8	209
合 計	308	11	319

査察対象物の立入検査状況

(令和2年度)

					令和2年度)
項別	対象	物数(査察対象物台帳の数とする)	伊勢崎市	玉村町	合 計
1	1	劇場・映画館等	2		2
1	口	公 会 堂 · 集 会 場	5	1	6
	イ	キ ャ バ レ ー ナ イ ト ク ラ ブ 等	2		2
2	口	ダンスホール・遊技場	9		9
۷	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	=	カラオケボックス等			
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等			
3	口	飲食店	25		25
4	百	貨店・マーケット等	65	1	66
5	イ	旅館・ホテル等	12		12
3	口	共 同 住 宅 等	37	5	42
	イ	病院 · 診療所等	11		11
6	口	老人短期入所施設等	3	1	4
0	ハ	老人デイサービス等	7	3	10
	11	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校	1	1	2
7	小•	中・高・大学・各種学校等	3		3
8	図	書館等			
9	イ	サーウーナー浴 場 等	1		1
3	口	公 衆 浴 場 等			
10	車	両 ・ 停 車 場 等			
11	神	社 · 教 会 等	2	2	4
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	86	31	117
12	口	映画・スタジオ等			
13	イ	車庫・駐車場等	3	1	4
10	口	格納庫等			
14	倉	庫	55	11	66
15	事	務所等	25		25
16	1	複合用途防火対象物 (特定)	50	4	54
10	口	複合用途防火対象物(上記以外)	5	3	8
17	重	要文化財等	1		1
そ		の他	1		1
		合 計	411	64	475

各種届出等の状況

(令和2年度)

Pre					(11)	和2年度)
種別	伊勢崎署	赤堀署	東署	境 署	玉村署	合 計
炉	1	3	1	1	1	7
暖 房 設 備						
温風暖房機	1					1
ボイラー・給湯湯沸設備	25	2	2	5	6	40
乾 燥 設 備	2	2	2	2		8
サーウーナー設備						
ヒートポンプ冷暖房機						
火花を生ずる設備						
放 電 加 工 機						
燃料電池発電設備						
発 電 設 備	10			1	2	13
変 電 設 備	28	15	4	5	8	60
蓄 電 池 設 備	9	1		2	1	13
ネオン管灯設備						
水素ガスを充てんする気球						
火災と紛らわしい煙又は火災を 発 す る お そ れ の あ る 行 為	19	2	8	6		35
煙火打上げ仕掛け	9	3	2	2	1	17
催物開催	1				1	2
水 道 断 水 ・ 減 水						
道路 工事	13	35	3		79	130
少量危険物貯蔵取扱い	51	12	8	16	17	104
指定可燃物	11	3		10	4	28
圧縮アセチレンガス						
消阻火害液化石油ガス	72	20	24	17	11	144
活物 毒物 劇物	2					2
その他の物質						
露店等の開設届出書	3		2	2		7
防火安全に関する意見書						
風俗営業に関する意見書						
合 計	257	98	56	69	131	611

建築 · 設備 建築同意事務処理の推移

年度別 市町村別	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
伊勢崎市	429	431	394	395	348
玉村町	46	43	59	49	28
合 計	475	474	453	444	376

計画通知事務処理の推移

年度別 市町村別	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
伊勢崎市	5	10	5	13	7
玉村町					
合 計	5	10	5	13	7

建築通知事務処理の推移

年度別 市町村別	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
伊勢崎市	1,261	1,252	1,239	1,147	1,055
玉村町	132	129	196	211	140
合 計	1,393	1,381	1,435	1,358	1,195

月別建築同意件数

(令和2年度)

															(T)	和2年度)
項	別		月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
1	イル	劇場・映画	館等													
1	口 ;	公 会 堂 · 集	会 場	į				2		1			1		1	5
		キ ャ バ レ ナ イ ト ク ラ	ブ 等													
0	口:	ダンスホール・遊														
2	ハ	性風俗関連特殊営業を営む	店舗等	Ş												
	= ;	カラオケボック	ス等													
0	イタ	待合 ・ 料 理 /	店等													
3	口 1	飲食	店						1			1		1		3
4	百貨	旨店・マーケッ	ト等	5	2	1			1	4	1	3		4	1	22
5	イカ	旅 館 ・ ホ テ /	ル等	÷												
Э	П	共 同 住 宅	等	÷		1				4	1	3		1	3	13
	イ	病院・診療	所 等	÷		1	2		1	1	2				1	8
G	口 ;	老人短期入所施	設 等	2		1				1	3	2	1		1	11
6	ハき	老人デイサービ	ス等	2	1	1	2	1		1			1	1		10
	= ;	幼稚園・特別支援	学校													
7	小•	中・高・大学・各種学	学校等	÷			1	1								2
8	図	書館	等	÷												
0	イ・	サーウーナー浴ー場	易 等													
9	口 ;	公 衆 浴 場	等	÷												
10	車	両 · 停 車 場	易 等	÷												
11	神	社・教会	等												1	1
12	イ:	工場・作業	美 場	4	5	3	3	2	3		1	1	4	2	1	29
12	口	映画・スタジ	才 等	÷												
1.9	イニ	車庫・駐車:	場等	1	1		1	6	1	2	3	4	1	1		21
13	ロ	格納庫	等	÷												
14	倉		庫	5	4	2	4	3	3	5	4	2	2	2		36
15	事	務所	等	43	3	6	4	3	8	9	10	7	7	6	2	108
1.0	イオ	複合用途防火対象物(特定)						1							1
16	口	複合用途防火対象物(上記	以外)					1							2	3
17	重	要文化財	等													
18	ア	・・・・・ケー	ド													
そ		Ø	他	14	5	6	10	6	9	4	10	11	9	10	9	103
		合 計		76	21	22	27	25	28	32	35	34	26	28	22	376
					•											

査察対象物の検査状況

(令和2年度)

					/ 1	和2年度)
項別	ıj	市町村5	列	伊勢崎市	玉村町	合 計
1	イ	劇場・映画館	等	1		1
1	口		場			
	イ	キ ャ バ レ ナ イ ト ク ラ ブ	ー 等			
2	口	ダンスホール・遊技	場			
۵	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗	等			
	=	カラオケボックス	等			
3	イ	待 合 ・ 料 理 店	等			
	口	飲食	店	1		1
4	百	貨店・マーケット	等	8		8
5	イ	旅館・ホテル	等	4		4
	口	共 同 住 宅	等	3		3
	イ	病院・診療所	等	4		4
6	口	老人短期入所施設	等	16	2	18
O	ハ	老人デイサービス	等	11		11
	1	幼稚園・特別支援学	校			
7	小•	中・高・大学・各種学校	等		1	1
8	図	書館	等			
9	イ	サーウーナー浴ー場	等			
	口	公 衆 浴 場	等			
10	車	両 ・ 停 車 場	等			
11	神	社・教会	等			
12	イ	工場・作業	場	69	4	73
	口	映画・スタジオ	等			
13	イ	車庫・駐車場	等	1		1
	口	格納庫	等			
14	倉		庫	30	2	32
15	事	務所	等	8	2	10
16	イ	複合用途防火対象物(特定)	7		7
	口	複合用途防火対象物(上記以外		4	3	7
17	重	要文化財	等	1		1
そ			他			
		合 計		168	14	182

消防用設備等の検査状況

消防用設備等には、消火設備・警報設備・避難設備などの「消防の用に供する設備」、防火水槽・貯水池等の「消防用水」また消防隊が使用する「消火活動上必要な施設」などがあります。令和2年度中にこれらの設備の設置に伴う検査をしたものが下記の表であり、「必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備」をその他として示しています。

(令和2年度)

		γì	肖	火	設	ſī	崩			樹	<u> </u>	報	設	偱	Ħ	避	難認	设備		消な	火活	:動. 施	上业	要 設	そ	· の(他	
消	屋	ス	不	泡	水	ハ	粉	屋	動	自	ガ	漏	消防	非常	非常	避	誘	誘	消	排	連	連	非	無	パ	パッ	共同	合
	内	プリ	活姓	消	噴	ロゲ	末	外	力	動	ス漏	電	機関	警報	警						結	結	常コ	線	ッケ	ケケ	住宅	
	消	ソン	性ガ	们	霧	ン	消	消	消	火	れ	火	へ通	設	報設は	難		導	防	煙	散	が百	ン	通	1	ージ	用	
火	火	ク	ス	火	消	化物	113	火	防	災報	火災	災	報する	備()	備(導					送	セ	信補	ジ 型	型 自	自動	
	栓	ラ	消.		火	消	火	栓	ポ	知知	報	警	っ火災	非常	放送	器		標	用	設	水		ン	助助	土消	動消	火災	
	設	- 設	火設	設	設	火設	設	設	ン	設	知設	報	報知	ベル	設備						設	水	ト設	設	火設	火	報知	
器	備	備	備	備	備	成備	備	備	プ	備	成備	器	設備	等)	\sim	具	灯	識	水	備	備	管	備	備	成備	設備	設 備	計
84	16	19					6	20	5	138			21	3	9	6	65		2						20	2		416



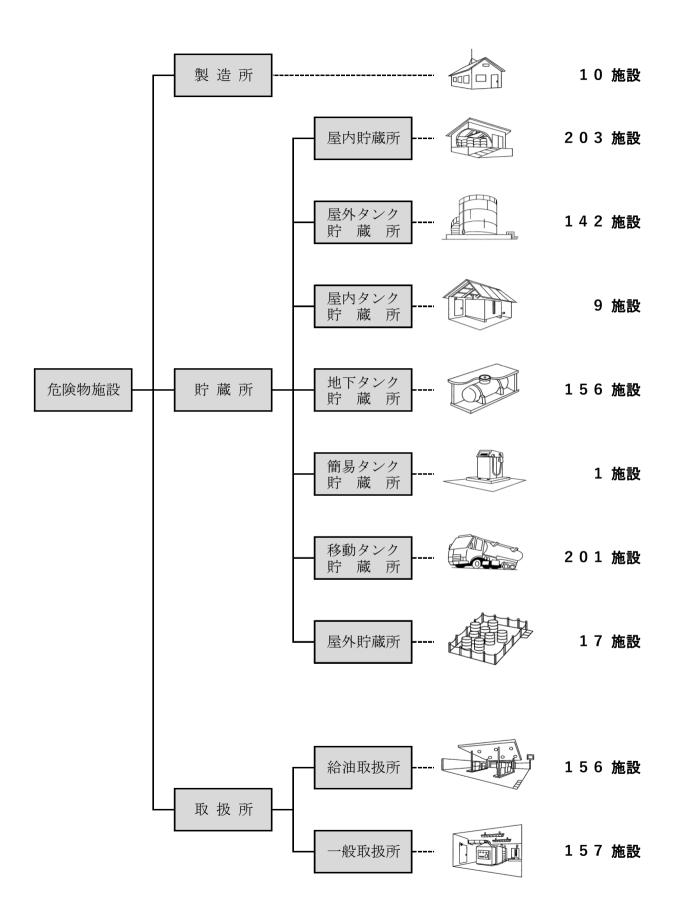
消防機関へ通報する火災報知設備の消防検査

防火対象物定期点検及び防災管理

	伊勢崎市	玉村町	合計
防火対象物定期点検が必要な建築物	126	12	138
防災管理者が必要な建築物	11	1	12

※防火対象物定期点検とは、多数の人が出入りする一定の防火対象物について、管理権原を有する人が火災予防のため資格者による定期点検を行い、その結果を消防機関へ報告するものです。 ※防災管理者が必要な建築物とは、大規模・高層の建築物等で一定の規模以上の防火対象物です。

危険物施設



危険物製造所等の設置状況

(令和3年4月1日現在)

	<i>☆</i> 米~□□			指定	数	量の	<i>位</i> 。	数別		() () ()	市町	↑ 臣山
	倍数別			11年	. 毅	量の	倍	数 加			ll1 m	ן יס
集けい	市町別		5倍 を超え	10倍 を超え	50倍 を超え		150倍 を超え		1000倍 を超え		伊勢	玉村
	世所等の別	5倍 以下	10倍 以下	50倍 以下	100倍 以下	150倍 以下			5000倍 以下		崎市	町
製	造 所		2	4	2		1	1		10	7	3
	屋内貯蔵所	91	54	28	14	6	5	2	3	203	181	22
	屋外タンク貯蔵所	53	25	41	13	2	3	5		142	131	11
	屋内タンク貯蔵所	5	3	1						9	6	3
貯蔵所	地下タンク貯蔵所	66	38	35	13	2		2		156	123	33
	簡易タンク貯蔵所	1								1	1	
	移動タンク貯蔵所	141	4	12	37	7				201	58	143
	屋外貯蔵所	6	6	5						17	17	
取扱所	給油取扱所	6	15	66	9	10	10	40		156	118	38
所	一般取扱所	68	52	29	6			2		157	127	30
合	計	437	199	221	94	27	19	52	3	1,052	769	283
市町	伊勢崎市	291	164	177	55	17	17	46	3	770		
別	玉 村 町	146	35	44	39	10	2	6		282		

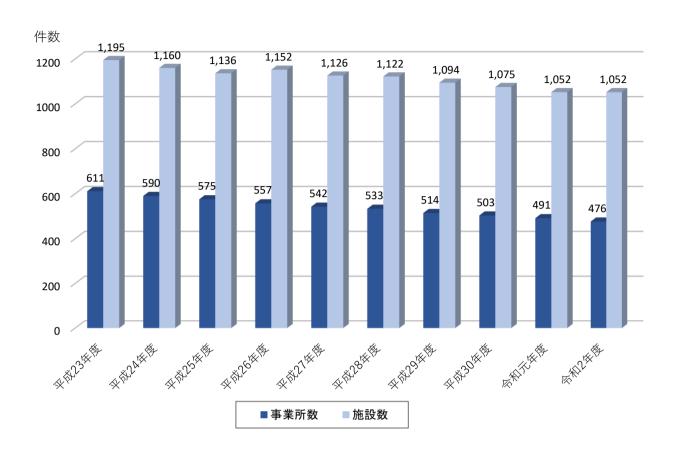
危険物製造所等許可・検査・届出等の件数

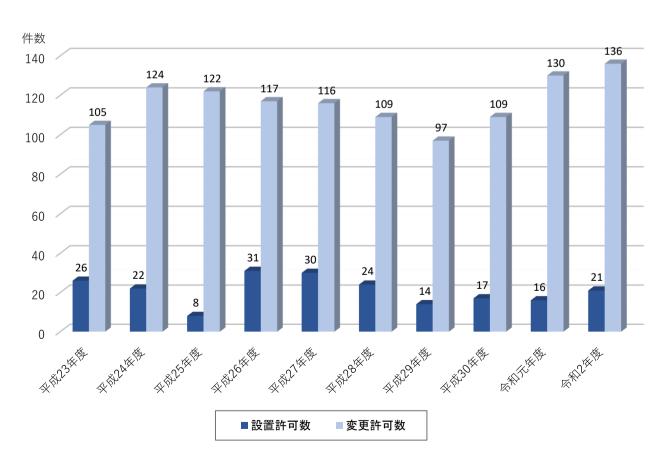
(令和2年度)

													令和2年	
製造	所等の別	製			貯	蔵	所			取抄	及所	合	市町	丁別
許可・検査届出の区分	市町別 査・分	造	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	一般取扱所	# 	伊勢崎市	玉村町
許可	設 置		5			1		10		2	3	21	13	8
B⊥ H1	変 更	6	4			2		67		34	23	136	59	77
完成検査	設 置	1	5			1		12		3	4	26	14	12
<i>九州</i> 久州民 县 .	変 更	8	4			2		80		31	23	148	59	89
仮使月	月 承 認	5	3							26	19	53	44	9
予 防	規程		1							22	2	25	24	1
保安監督者	皆選解任届	1	20	3		9				21	11	65	51	14
関係資料	斗提 出 書	7	38	24		31		29	2	88	56	275	198	77
譲渡。	演 届							62				62	2	60
種類・数	量変更届	1	10	1		2		8		2	6	30	18	12
廃 」	L 届		1			9	1	7		7	7	32	26	6
火気	声 用 届													
仮貯蔵・仮												20	18	2
液化石油意。	書													
液化石設備	油 ガ ス											8	8	
	タンク											8	8	
完成検査	水張検査											(100)	(100)	()
前検査	タンク										-	44	44	
	水圧検査											()	()	()

※ () は少量タンク

危険物製造所等施設数及び事業所数の推移





警防



ホーストレーニングの様子

消防隊出動状況

(令和2年中)

														(行礼	12年中)
全 別		月別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		件数	51	3	7	1	3	4	3	1	7	5	4	8	5
	建物	隊数	360	34	48	3	19	37	10	7	50	31	34	54	33
		人員	1, 235	123	182	9	57	116	44	24	161	116	114	184	105
		件数	10	1	1	1	0	2	0	0	0	1	1	1	2
مار	車 両	隊数	31	3	4	2	0	5	0	0	0	3	2	3	9
火災		人員	123	14	15	9	0	19	0	0	0	11	6	10	39
出動		件数	21	2	0	7	1	1	0	0	2	1	0	3	4
3/)	その他	隊数	92	19	0	33	4	8	0	0	9	3	0	8	8
		人員	334	63	0	129	11	26	0	0	36	8	0	26	35
		件数	82	6	8	9	4	7	3	1	9	7	5	12	11
	小 計	隊数	483	56	52	38	23	50	10	7	59	37	36	65	50
		人員	1,692	200	197	147	68	161	44	24	197	135	120	220	179
-14-	11.11.1£1.	件数	106	8	13	5	5	2	5	7	15	6	18	9	13
	助出動 ※1	隊数	354	24	41	16	18	6	26	22	48	19	61	29	44
		人員	1, 178	71	143	52	62	22	81	86	165	65	201	95	135
		件数	27	0	1	1	0	0	23	0	0	0	0	1	1
自然组	災害出動	隊数	36	0	1	2	0	0	31	0	0	0	0	1	1
		人員	105	0	3	4	0	0	90	0	0	0	0	5	3
警戒	出動・	件数	1, 308	109	111	122	96	86	87	84	141	97	123	118	134
	他災害 動 ※ 2	隊数	1, 555	124	134	134	105	106	109	106	174	111	145	139	168
山里	助水4	人員	4, 547	354	383	414	319	317	309	330	489	306	419	418	489
		件数	130	13	7	5	4	6	14	22	17	17	10	5	10
誤	報	隊数	238	43	15	14	5	8	19	36	42	22	15	8	11
		人員	812	154	51	47	15	24	68	116	145	74	56	30	32
		件数	1, 653	136	140	142	109	101	132	114	182	127	156	145	169
合	計	隊数	2, 666	247	243	204	151	170	195	171	323	189	257	242	274
		人員	8, 334	779	777	664	464	524	592	556	996	580	796	768	838
定羽	・訓練	隊数	40	5	13	2	1	0	0	9	4	0	6	0	0
供白	1 可用床	人員	116	15	34	6	3	0	0	30	9	0	19	0	0
广把	・指導	隊数	374	31	77	80	7	7	2	2	7	3	12	77	69
江文和	7、1日存	人員	969	86	201	214	20	15	4	6	20	7	35	206	155
荷女 [7	坊調査	隊数	428	19	25	21	62	61	49	49	39	35	24	24	20
言用	77 时1 王.	人員	1, 091	55	59	56	166	161	115	138	103	87	55	58	38
生品	別警戒	隊数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
-101 X	77 目7以	人員	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
子瓜	防査察	隊数	613	49	68	20	2	2	20	92	61	90	107	67	35
1 13	77.且.示	人員	1,712	131	185	41	5	6	53	273	167	264	308	194	85
7	- の他	隊数	1,718	99	159	145	120	144	128	154	173	141	160	152	143
	. マノ 凹	人員	4, 087	230	378	329	245	329	303	379	447	334	404	383	326
合	計	隊数	3, 175	203	342	268	192	214	199	306	284	269	309	320	269
	βI	人員	7, 981	517	857	646	439	511	475	826	746	692	821	841	610

^{※1} 火災、特殊災害、管外応援及び誤報を除く。

^{※2} その他災害出動とは、特殊災害出動、救急支援出動、ドクターへリ支援出動、危険排除出動等をいう。

高速自動車国道等出動状況

1 救急出動 (令和2年中)

	種別					救急					救急
路線		火災	自然災害	交通事故	労働災害	一般負傷	加害	自損行為	急病	左記以外 の救急	合計
関越	出動件数										0
	搬送人員										0
上信越	出動件数										0
工百越	搬送人員										0
北関東	出動件数			6				1	2		9
北閃木	搬送人員			8				1	1		10
合 計	出動件数	0	0	6	0	0	0	1	2	0	9
	搬送人員	0	0	8	0	0	0	1	1	0	10

2 火災出動・救助出動・支援出動

(令和2年中)

	<u> </u>	47 JV	7) 11 4	<u> </u>	<u> </u>	<u>, </u>				(11 J H	2 - 1 17
	種別		火災		火災		救	:助		救助	士运然
路線		建物火災	車両火災	左記以外 の火災	合計	火災	交通事故	風水害等 自然災害	左記以外 の救助	合計	支援等
関越	出動件数				0					0	0
	出動台数				0					0	0
上信越	出動件数				0					0	0
上旧越	出動台数				0					0	0
北関東	出動件数		1		1					0	3
北渕米	出動台数		6		6					0	7
合 計	出動件数	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3
	出動台数	0	6	0	6	0	0	0	0	0	7

火薬類(煙火)消費許可

(令和2年度)

					火薬類	の種類及	び数量			
実施日	実施名	火薬	2 号玉	2.5 号 玉	3 号玉	4 号玉	マスターン	小型	キャンドル	海出効果 用
9月13日(日)	オートレース優勝戦後 花火打上	7.0 kg	96 個	80 個	40 個					
10月31日(土)	野町コロナに負けるな 花火大会に関する煙 火打上	10.45 kg		30 個	15 個	25 個	15 JI	7 台	2 本	
12月5日(土)	夜空を見上げよう プロジェクト	7.944 kg	145 個	101 個				4 台		66 発

水防関係



水防訓練風景(令和2年度伊勢崎市水防訓練)

令和2年度伊勢崎市水防訓練

実施訓練	実施日	訓練会場
消防団 各個訓練	7月19日~8月2日	各消防署敷地

水防倉庫資器材備蓄一覧表

N					· · · ·	-		H .l.1	N1.5 .	_	元						
	水防倉庫別	伊勢崎消防署水防倉庫	太田水防倉庫	華蔵寺水防倉庫	南分署水防倉庫 ※	西分署水防倉庫 ※	赤堀消防署水防倉庫	東消防署水防倉庫	境消防署水防倉庫 ※	境保泉水防倉庫 ※	境防災センター水防倉庫※	境島村公民館水防倉庫 ※	境平塚水防倉庫 ※	境三ツ木水防倉庫	伊勢崎下流域水防倉庫	道路維持課分室水防倉庫※	合計
完成土のう	個	454	260	350	370	480	475	286	450			300	26	600	840		4, 891
土のう袋	枚	8, 550	3,800	3, 400	2,000	1,654	2, 100	2,000	2, 189	1, 114	1, 300	3, 200	2,000	2, 128	1, 389		36, 824
スーパー土のう袋	枚																0
木杭	本	55	20	200			39		3			21		82	5		425
丸太	本	73	20				7	30			24						154
鉄杭	本	79	26					9	360	60				70	9		613
鉄杭(黄・黒柄)	本	402	191	478	200	85	98	79	198	55	50	87	43	53	40		2, 059
パイプ杭(Φ40mm)	本	402	35				30										467
縄	巻	10	5	6			4					4				3	
ロープ(黄・黒柄)	巻	3	2	3	3	2	7	2	4				2				28
ビニールロープ	巻	8	2	13	5	3		2	3	2		2	_	2			51
鉄線	kg	80	30	75	50	8		25	10		50		_	20	30		468
ビニールシート	枚	25	5	5	4	5	5	5	5	3	5	5	5	5	5	2	
卸 二 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	kg	4	4	4													12
軽量鋼板	枚	70					30							46			146
シート張り	枚	_							_			_					0
塩ビ パイプ	本	5	1	1			1	1	2	1	4	2	1	1	1		21
竹とげ	丁	3	0.0	1	4.1	1	1	1	1		0.5	0.4	0.1	20	0.7		28
剣先スコップ	丁	64	30	40	41	20	23	19	26	17	27	34		23	27	5	
角スコップ	丁工	28	90	0.7	7	5	6	10	11	4	4		5	0	4	17	
掛矢なた	丁	24	20 5	27	10	2	6 5	6				5 7			4	3	
かま	丁	18	10	6 19	9	2	11	5 10	3 6		5			5	5	9	
のこぎり	1	15	15	20	5	3	7	6	8	8	_	-		-	J	5	100
斧(大=杭ごしらえ可)	1	5	10	20	υ	J	5	1	1	1	2		9	1	2	υ	133
斧(小)	丁	2	2	5	5	2	2	2	-		3		2	1	2		32
唐ぐわ	丁	5	4	4	3	2	4	3		3				2	2		38
つるはし	丁	11	11	25	7	4	5	5	2	2				2	2	2	
ペンチ	丁	8	2	20	2	2	2	3		2			2	2		3	
ハンマー(両手)	丁	12	2	1	5	10	5	6	5	2				2	1	2	
ハンマー (片手大)	丁	16	6			10		1	3								26
ハンマー(片手小)	丁	13		13	10	6		7	12		6	11	13	8	5	2	
鉄線カッター	丁	5	3	2	2	2	2	2	1	1	2			2	1	1	29
バール	丁	3	2	2	3	2	2	1	4	2	2	4	2	2	3	5	
しの	丁	3			2	4	6	2					1				18
もっこ	台					10			2								12
たこづち	丁	11			2	2	2	2	2								21
一輪車	台	3			1	1	2	2	2							1	12
水防マット	枚	4						5									9
チェンソー	機	2			1	1	1	1	1							3	10
排水ポンプ	基							1	1							3	5

応 援 協 定

群馬県消防相互応援協定

大規模かつ広域的な災害、その他緊急を要する災害が発生した場合において、協定団体相互間の消防力を活用して当該災害による被害を最小限度に防止する目的で、関係消防機関と相互応援協定を締結している。(群馬県全域)

平成19年9月4日

協定団体

利根沼田広域消防本部 市 消 防 局 高崎市等広域消防局 渋川 広域 消防 本部 生 市 消 防 本 部 多野藤岡広域消防本部 太 田市消防本 部 富岡甘楽広域消防本部 館林地区消防本部 吾 妻 広 域 消 防 本 部

特殊災害消防対策相互応援協定

隣接消防機関の相互の緊密なる協力のもとに特殊災害に対処する目的で、群馬、栃木隣接の関係消防機関と相互応援協定を締結している。

平成18年3月27日

協定団体

消防 佐 野 桐 生 市 本 部 市 消 防 部 利 太 田市消防本部 足 市 消 防 本 部 林地区消防本部

関越自動車道、上信越自動車道及び北関東自動車道における消防相互応援協定

関越自動車道の本庄・関越トンネル間、上信越自動車道の藤岡・佐久間及び北関東自動車道の 高崎・足利間における、火災又は救急事故等が発生した際に消防業務の円滑化を図る目的で、関 係消防機関と相互応援協定を締結している。

平成23年3月9日

協定団体

消 防 利根沼田広域消防本部 橋 市 局 高崎市等広域消防局 富岡甘楽広域消防本部 多野藤岡広域消防本部 佐久広域連合消防本部 児玉郡市広域消防本部 太 田 市 消 防 本 部 渋川 広域 消防 本部 利 防 足 市 消 部

消防相互応援協定

火災、地震その他緊急を要する災害が発生した場合において、協定団体相互間の消防力を活用 して、当該災害による被害を最小限に防止する目的で、利根川を挟み隣接する埼玉県の消防機関 と相互応援協定を締結している。

平成20年4月1日

協定団体

児玉郡市広域消防本部深谷 市 消 防 本 部

群馬県防災航空隊支援協定

地震・台風・水火災及び事故等の災害の場合において、群馬県防災航空隊(防災ヘリコプター)の支援を受けることによって被害を最小限に防止する目的で、群馬県と支援協定を締結している。

平成18年3月27日

協定団体

群 馬 県

鉄道災害時における鉄道事業者と消防機関との連携に関する応援協定

鉄道災害発生時において、鉄道事業者及び消防機関との連携を図り、より迅速かつ効率的な消防活動及び安全管理体制の確保に努めるとともに、公共交通機関の早期運転再開の実施を図る目的で、群馬県、鉄道事業者、消防機関と応援協定を締結している。

平成20年10月1日

協定団体

群 馬 県 東日本旅客鉄道株式会社高崎 上 信 電 鉄 株 式 会 社 前 橋 市 消 防 局 高 崎 市 等 広 域 消 防 局 桐 生 市 消 防 本 部 利根沼田広域消防本部 洪 川 広 域 消 防 本 部 多野藤岡広域消防本部 富岡甘楽広域消防本部 吾 妻 広 域 消 防 本 部

鉄道災害時における鉄道事業者と消防機関との連携に関する応援協定

鉄道災害発生時において、鉄道事業者及び消防機関との連携を図り、より迅速かつ効率的な消防活動及び安全管理体制の確保に努めるとともに、公共交通機関の早期運転再開の実施を図る目的で、鉄道事業者、消防機関と応援協定を締結している。

平成21年7月1日

協定団体

東武鉄道株式会社太田市消防本部

桐生市消防本部館林地区消防本部

火災または地震等の災害時における消火用水供給応援に関する協定

火災又は地震等の消火活動に関し、消火用水の供給応援を受けることによって被害を最小限度 に防止する目的で、コンクリートミキサー車を有する企業と応援協定を締結している。

平成10年1月17日

協定団体

上州生コン株式会社田中生コン株式会社

大規模災害時における石油類燃料の供給に関する協定

地震等の大規模な災害の発生により市内のサービスステーションが混雑し、緊急車輌の運行に 必要な石油類燃料の調達が困難となった場合において、優先的かつ安定的な石油類燃料の供給を 受ける目的で、サービスステーションを所有する企業と応援協定を締結している。

平成25年2月1日

協定団体

藤本商事株式会社

消防活動の協力に関する協定

火災等の災害時の消防活動に関し、重機等を保有する建設事業者に対して協力要請を迅速に行 う目的で協定を締結している。

平成30年5月24日

協定団体

株式会社サンケン

平成30年6月28日

協定団体

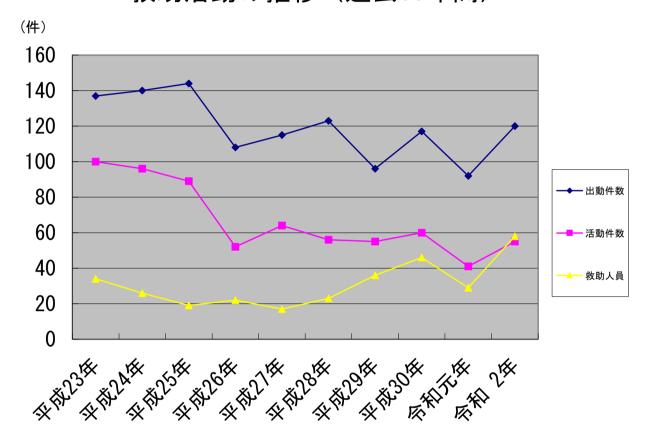
第一工業株式会社

救 助 活 動 概 要

令和2年中の救助出動件数は120件、活動件数は55件で前年と比較すると出動件数は28件増し、活動件数14件増となっています。

また、消防隊等により救助された人(救助人員)は、58人で前年と比較すると29人増加しています。

救助活動の推移(過去10年間)



年区分	出動件数	活動件数	救助人員
平成 23 年	137	100	34
平成24年	140	96	26
平成 25 年	144	89	19
平成 26 年	108	52	22
平成 27 年	115	64	17
平成 28 年	123	56	23
平成29年	96	55	36
平 成 30 年	117	60	46
令 和 元 年	92	41	29
令 和 2 年	120	55	58

事故種別救助活動状況

令和2年中

事故種別	区分	救助出	動件数	救助活	動件数	
火災	建物	2	2	2	2	
八火	建物以外	0	۷	0	2	
交 通	事故	72		29		
水 難	事 故	: 6		4		
自然	災害事故	0		0		
機械に	よる事故	3	118	2	53	
建物等	による事故	15	110	9	55	
ガス及	び酸欠事故	1		1		
破 裂	事 故	0		0		
その1	他の事故	21		8		
合	計	120		55		

事故種別発生場所別出動件数

令和2年中

	\	事故種別	火	災	交通	水難	自然 災害	機械に よる	建物等による	ガス及び酸欠	破裂	その他	合計
発生	上場所	;	建物	建物 以外	事故	事故	事故	事故	事故	事故	事故	の事故	1177
屋		È 居	2						14	1		2	19
内	Ž	その他の屋内						3	1			6	10
	道	高速自動車国道等											0
	路	その他の道路			71							2	73
屋	小人	内 水 面				6							6
外	面	外 水 面											0
	L	山 岳											0
	ž	その他の屋外										8	8
	地	下											0
	そ	の他			1							3	4
	合	計	2	0	72	6	0	3	15	1	0	21	120

指 揮 調 査



警察機関と合同で実況見分を行っている状況

〈火災の概況〉

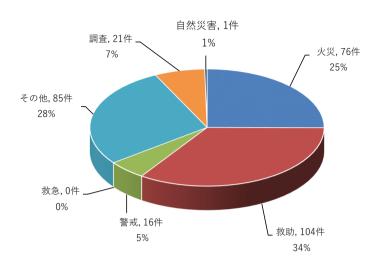
令和2年中の管内における火災件数は82件で前年に比べ7件減少しています。 構成市町別では伊勢崎市が76件、玉村町が6件となっております。 損害額については18,927万円であり、前年より3,953万円の増加となりました。

指揮活動



現場指揮本部の運営状況

指揮隊出動件数 • 災害種別内訳



指揮隊出動内訳

(令和2年中)

						(市和2年中)		
	火 災	救 助	警 戒	救 急	その他	調査	自然災害	月 計
1月	6	7	1	0	9	3	0	26
2月	8	13	1	0	6	1	0	29
3月	8	5	1	0	6	1	0	21
4月	4	5	0	0	7	0	0	16
5月	7	2	1	0	2	4	0	16
6月	3	5	0	0	6	1	1	16
7月	1	7	3	0	3	0	0	14
8月	8	15	1	0	12	5	0	41
9月	6	5	0	0	9	2	0	22
10月	5	18	1	0	9	1	0	34
11月	11	9	6	0	8	0	0	34
1 2月	9	13	1	0	8	3	0	34
合計 (件)	76	104	16	0	85	21	1	303

火災の状況

(令和元年·令和2年比較)

				(11/11/11	
		令和2年(A)	令和元年(B)	增減(A)-(B)	増減率(C)/(B)
		13/142 (11)	17470 (15)	(C)	×100 (%)
出	火件数(件)	82	89	△ 7	△ 8
	建物	51	45	6	13
	車 両	10	12	△ 2	△ 17
	その他	21	32	△ 11	△ 34
焼	損棟数(棟)	66	64	2	3
	全 焼	7	15	△ 8	△ 53
	半 焼	5	4	1	25
	部 分 焼	23	17	6	35
	ぼや	31	28	3	11
りき	災世帯 (世帯)	27	38	△ 11	△ 29
	全 損	3	8	△ 5	△ 63
	半損	3	2	1	50
	小 損	21	28	△ 7	△ 25
り	災人員(人)	64	98	△ 34	△ 35
死	傷者(人)	9	21	△ 12	△ 57
	死 者	0	6	△ 6	△ 100
	負 傷 者	9	15	△ 6	△ 40
	30日死者	0	1	△ 1	△ 100
焼	床面積(m²)	1,934	3,013	△ 1,079	△ 36
損	表 面 積 (m²)	801	300	501	167
損	害額 (千円)	189,276	149,737	39,539	26
	建物	100,834	90,406	10,428	12
	収 容 物	83,270	34,639	48,631	140
	車 両	4,838	8,434	△ 3,596	△ 43
	その他	334	16,258	△ 15,924	△ 98
出	火率 (件)	3.3	3.6	△ 0.3	△ 8

- (注) 1 死者とは、火災により負傷した後、48時間以内に死亡したものをいう。
 - 2 30日死者とは、負傷者のうちで火災に起因する原因により、48時間を経過して30日以内に死亡したものをいう。
 - 3 焼損面積は、建物のみ。
 - 4 出火率とは、人口1万人当たりの出火件数をいう。
 - 5 △は減少を示す。

市町別出火状況

(令和2年中)

	伊勢崎市	玉村町	合 計
出火件数(件)	76	6	82
建物	49	2	51
車両	10	0	10
その他	17	4	21
焼損棟数(棟)	64	2	66
全焼	7	0	7
半焼	4	1	5
部 分 焼	23	0	23
ぼや	30	1	31
り災世帯(世帯)	25	2	27
全損	3	0	3
半 損	2	1	3
小 損	20	1	21
り災人員(人)	59	5	64
死傷者(人)	8	1	9
死 者	0	0	0
負 傷 者	8	1	9
30日死者	0	0	0
焼床面積(m²)	1,900	34	1,934
損 表面積(m²)	801	0	801
損害額(千円)	184,655	4,621	189,276
建物	96,604	4,230	100,834
収 容 物	82,879	391	83,270
車両	4,838	0	4,838
その他	334	0	334
出火率 (件)	3.6	1.7	3.3

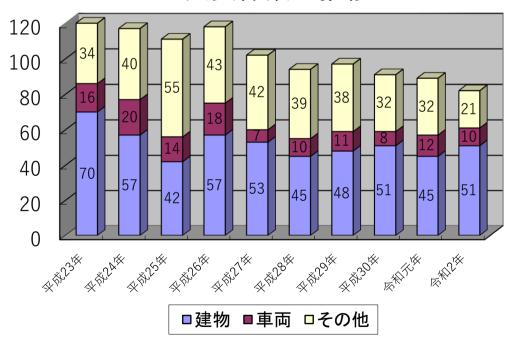
- (注) 1 死者とは、火災により負傷した後、48時間以内に死亡したものをいう。
 - 2 30日死者とは、負傷者のうちで火災に起因する原因により、48時間を経過して30日以内に死亡したものをいう。
 - 3 焼損面積は、建物のみ。
 - 4 出火率とは、人口1万人当たりの出火件数をいう。

火災状況の推移

(過去10年間)

			.			10平间)
	件 数	焼損面積(㎡)	損害額(千円)	死者(人)	負傷者 (人)	出火率
平成23年	120	床 6,667 表 1,491	456,483	6	9 30日死者 1	4.8
平成24年	117	床 3,530 表 258	151,010	2	17 30日死者 0	4.7
平成25年	111	床1,457表651	75,362	2	23 30日死者 0	4.5
平成26年	118	床1,530表663	102,893	5	19 30日死者 0	4.8
平成27年	102	床 4,049 表 855	170,081	5	11 30日死者 0	4.1
平成28年	94	床 3,086 表 759	224,768	6	30日死者 15	3.8
平成29年	97	床 2,478 表 600	236,449	3	11 30日死者 0	3.9
平成30年	91	床 3,491 表 304	394,191	6	7 30日死者 0	3.6
令和元年	89	床3,013表300	149,737	6	30日死者 15	3.6
令和2年	82	床 1,934 表 801	189,276	0	9 30日死者 0	3.3

火災件数の推移



火 災 件 数

建物火災

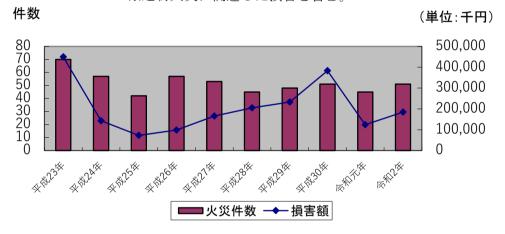
建物火災は51件で前年に比べ6件増加している。損害額は18,451万円で前年と比べ5,878 万円増加している。

建物火災の推移

(単位: 千円)

	(<u> </u>
	火災件数	※損害額
平成23年	70	449,619
平成24年	57	142,963
平成25年	42	72,629
平成26年	57	98,207
平成27年	53	165,792
平成28年	45	205,352
平成29年	48	232,531
平成30年	51	383,132
令和元年	45	125,737
令和2年	51	184,515

※建物火災に関連した損害を含む。



車両火災

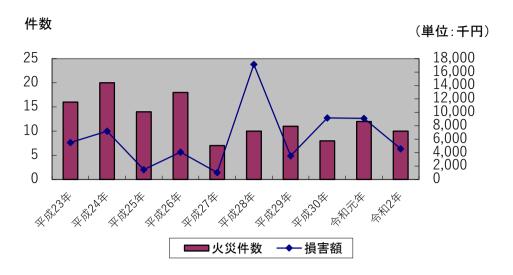
車両火災は10件で前年に比べ2件減少している。損害額は457万円で前年と比べ454万円減少している。

車両火災の推移

(単位:千円)

	火災件数	※損害額
平成23年	16	5,507
平成24年	20	7,195
平成25年	14	1,476
平成26年	18	4,066
平成27年	7	1,028
平成28年	10	17,142
平成29年	11	3,526
平成30年	8	9,179
令和元年	12	9,114
令和2年	10	4,579

※車両火災に関連した損害を含む。



その他の火災

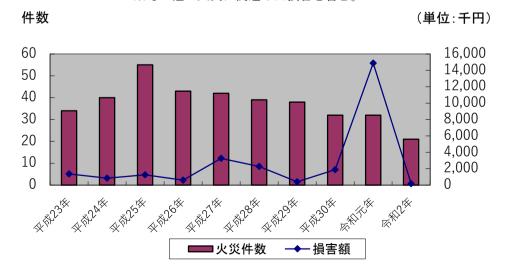
その他の火災は21件で前年と比べ11件減少している。損害額は18万円で前年と比べ1,470万円減少している。

その他の火災の推移

(単位:千円)

	`	1 1 7 7
	火災件数	※損害額
平成23年	34	1,357
平成24年	40	852
平成25年	55	1,257
平成26年	43	607
平成27年	42	3,261
平成28年	39	2,274
平成29年	38	392
平成30年	32	1,880
令和元年	32	14,886
令和2年	21	182

※その他の火災に関連した損害を含む。



出 火 原 因

令和2年中における全火災82件中を原因別に見ると、出火原因の第1位は「電気に起因するもの(14件・全体の17%)」、第2位は「たばこ(12件・全体の15%)」、第3位は「こんろ(7件・全体の9%)」となっている。

※電気に起因するものとは、出火原因が「電気機器」「電気装置」「電灯・電話等の配線」「配線器具」の火災のことをいう。

1 電気に起因するものの損害状況

電気に起因するものによる火災は14件で前年に比べ3件増加している。電気に起因するものによる主な経過別出火件数を見ると、「金属の接触部が過熱する」が4件で1番多く、全体の29%を占めている。

電気に起因するものによる火災の損害額は2,218万円で前年に比べ3,393万円減少している。

	単	電気に起因するものの損害状況			
	位	令和2年	令和元年	増減値	
出 火 件 数		14	11	3	
建物火災	件	12	11	1	
車 両 火 災	11	2	0	2	
その他の火災		0	0	0	
建物焼損床面積	m^2	444	1,179	△ 735	
建物焼損表面積	ın	111	14	97	
損害額	千円	22,182	56,113	△ 33,931	

2 たばこによる火災の損害状況

たばこによる火災は12件で前年に比べ4件増加している。たばこによる主な経過別出火件数を見ると、「不適当なところに捨て置く」が7件で全体の58%を占めている。 たばこによる火災の損害額は2,116万円で前年に比べ273万円減少している。

	単	たばこによる火災の損害状況			
	位	令和2年	令和元年	増減値	
出 火 件 数		12	8	4	
建物火災	件	7	4	3	
車 両 火 災	17	1	0	1	
その他の火災		4	4	0	
建物焼損床面積	m²	376	563	△ 187	
建物焼損表面積	111	161	95	66	
損害額	千円	21,161	23,900	△ 2,739	

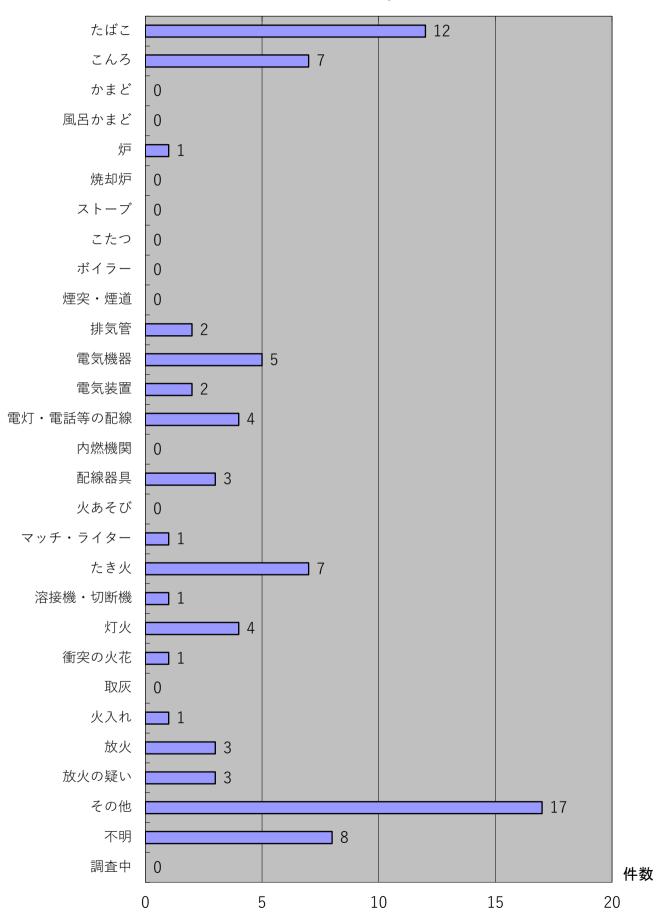
3 こんろ・たき火による火災の損害状況

こんろによる火災は7件で前年に比べ2件減少している。こんろによる主な経過別出火件数を見ると、「放置する、忘れる」が6件で全体の86%を占めている。

こんろによる火災の損害額は381万円で前年に比べ229万円増加している。

たき火による火災は7件で前年に比べ1件減少している。たき火による主な経過別出火件数を見ると、「火の粉が散る遠くへ飛火する」が3件で全体の43%を占めている。 たき火による火災の損害額は119万円で前年に比べ108万円増加している。

出火原因



火災による死傷者

令和2年中の火災による死者はなしで、負傷者は9人である。

火災種別ごとの死傷者発生状況

	建物火災	車両火災	その他の火災
死 者(人)			
割 合(%)			
負傷者(人)	8		1
割 合(%)	89		11

全火災の区分別死傷者数

	消防吏員	消防団員	応急消火義務者	消防協力者	その他	計
死 者(人)						0

		消防吏員	消防団員	応急消火義務者	消防協力者	その他	計
負	傷者(人)			9			9
	重症			1			1
	中等症			4			4
	軽 症			4			4

全火災の死傷者の性別・年齢区分

	死	者(人)	負	傷	前 (人)
	男	女	計	男	女	計
5歳以下(人)						
6 ~ 10 歳						
11 ~ 15 歳						
16 ~ 20 歳				1		1
21 ~ 25 歳				1		1
26 ~ 30 歳						
31 ~ 35 歳				1		1
36 ~ 40 歳					1	1
41 ~ 45 歳					1	1
46 ~ 50 歳						
51 ~ 55 歳				2		2
56 ~ 60 歳					1	1
61 ~ 65 歳				1		1
66 ~ 70 歳						
71 ~ 75 歳						
76 ~ 80 歳						
81歳以上						
合 計	0	0	0	6	3	9

署•分署別火災発生状況

		伊勢崎消防署	北分署	南分署	西分署	赤 堀消防署	東 消防署	境 消防署	玉 村消防署	計
少	く災件数 (件)	10	8	17	8	8	13	12	6	82
	建物	7	7	11	4	3	11	6	2	51
	車両	1	1	0	2	2	1	3	0	10
	その他	2	0	6	2	3	1	3	4	21
烤	连損棟数 (棟) -	7	7	13	4	7	18	8	2	66
	全焼	0	0	2	1	1	2	1	0	7
	半焼	1	1	0	0	1	1	0	1	5
	部 分 焼	5	3	4	0	3	6	2	0	23
	ぼや	1	3	7	3	2	9	5	1	31
Ŋ	災世帯(世帯)	1	10	3	1	3	4	3	2	27
Ŋ)災員(人)	3	20	9	3	5	11	8	5	64
烤	连損床面積(m²)	21	50	348	332	294	503	352	34	1,934
烤	连損表面積(㎡)	476	31	13	1	106	163	11	0	801
列	正 者 (人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
負	自傷者 (人)	2	1	2	0	1	0	2	1	9
損	員害額(千円)	22,991	10,424	34,078	26,291	21,434	26,450	42,987	4,621	189,276

装備•施設

【令和2年度 整備車両】 災害対応特殊救急自動車

伊勢崎消防署南分署配備 救急伊勢崎南 1 号車



び害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車 伊勢崎消防署北分署配備 伊勢崎北 1 号車



消防車両等現有配置状況

(令和3年4月1日現在) 梯 救 乗 水 普 化 救 救 指 資 指 火 広 消 被 小 7 車種別 槽 型 牽 诵 助 助 付 動 機 引 イ 消 子 学 災 報 通 車 消 力 工 防 報 防 ポ 材 ポ ポ 令 自 消 急 作 作 揮 調 連 用 訓 1 プ 運 口 V 練 プ 車 車 付 絡 防 動 指 自 バ ラ 水 搬 \prod \coprod 導 動 動 槽 所 属 重 重 車 車 車 型 型 車 車 重 車 重 車 車 ス 車 計 2 2 4 1 1 3 1 1 16 消 防 本 部 1 1 1 2 1 1 1 1 1 10 伊勢崎消防署 伊勢崎消防署 1 1 1 3 北 分 伊勢崎消防署 1 1 1 1 1 5 南 分 伊勢崎消防署 3 1 1 1 西 分 1 1 1 1 4 赤堀消防署 1 5 1 1 1 1 東 消 防 署 1 1 1 1 1 1 6 境 消 防 署 1 1 1 1 4 玉 村 消 防 署 2 8 2 1 11 1 1 1 3 5 9 1 7 1 1 1 1 56 合 計

消防車両一覧表

(令和3年4月1日現在)

								(市和3年4月1日現任)
所属	車 両 名	メ ー カ ー 車 種	登録番号	取得年月日	ポンプ性能 製作所	車両総 重量(kg)	緊急消防 援助隊	備考
	本 部 1 (指令車)	三 菱 パ ジ ェ ロ	,	H20. 2. 8		2, 495		四輪駆動
	本 部 2 (広報連絡車)	ト ヨ タ ノ ア	503 す 4678	H29. 2.10		2,010		
	本 部 3 (指令車)	ニッサンキャラバン	800 せ 9610	R 2. 3.10		3, 115		
消	本 部 4 (指令車)	ホ ン ダ ステップワゴン	800 せ 3284	H23. 8.23		2, 150		
	本 部 5 (指令車)	ニ ッ サ ン A D バ ン	800 せ 4532	H25. 2.22		1, 745		
	本 部 6 (マイクロバス)	ニ ッ サ ン シ ビ リ ア ン	200 さ 1014	H16. 8.20		5, 365		乗車定員29人
防	本 部 支 援 1 (資機材運搬車)	日野レンジャー	800 は 1922	H28. 3. 4		10, 905	登録	支援車Ⅱ型 四輪駆動
	本 部 機 材 1 (資機材運搬車)	ニ ッ サ ン ア ト ラ ス	88 ぬ 5240	Н 9. 3.14		3, 325	登録	
	救 急 伊 勢 崎 3 (高規格救急自動車)	ト ヨ タ ハイメディック	800 せ 909	H21. 1.26		3, 265		非常用救急自動車
本	救 急 伊 勢 崎 4 (高規格救急自動車)	ニ ッ サ ン パラメディック	800 せ 2828	H23. 2.17		3, 245		非常用救急自動車
	本部指揮1 (指揮車)	ト ヨ タ ハイエース	800 ゼ 4535	H25. 2.22		3, 020		ETC業務用プレート
	本 部 調 査 1 (火災調査車)	ト ヨ タ ハイメディック	800 す 1246	H15. 3.27		2, 555		2 B型(改) ETC業務用プレート
部	乗 用 車	ト ヨ タ マ ー ク I I	300 ま 3569	H16. 3.12		1, 745		
	消火通報訓練車	マ ツ ダ タ イ タ ン	88 & 3819	Н 8. 9.10		2, 585		寄贈車両
	危険物安全協会車 (広報連絡車)	ト ヨ タ プロボックス	502 & 3916	H22.11.30		1, 315		寄贈車両
	危険物安全協会車2 (広報連絡車)	ス ズ キ エ ブ リ イ		Н30. 5.28		1, 330		寄贈車両

【令和2年度 整備車両】



伊勢崎消防署南分署配備 災害対応特殊救急自動車(救急伊勢崎南1号車)



伊勢崎消防署北分署配備 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(伊勢崎北1号車)

所属	車 両 名	メーカー	登録番号	取得年月日	ポンプ性能	車両総	緊急消防	備考
/内	/I	車種	000 +		製作所	重量(kg)	援助隊	
	伊 勢 崎 指 令 1 (指 令 車)	ト ヨ タ ノ ア	800 す 7250	H18. 3.15		1, 970		
伊	伊 勢 崎 1 (水槽付Ⅱ型)	日野レンジャー	800 は 1272	H21. 1.28	A-2級 モ リ タ	11, 180		四輪駆動 積載水量2,0000 CAFS装置 ETC業務用プレート
勢	伊勢崎水槽1	三 菱 スーパーグレート	800 は 664	H16. 3.12	B-2級 シバウラ	21, 985		積載水量10,0000 ETC業務用プレート
	伊勢崎化学1 (化学Ⅱ型)	日野レンジャー	800 は 2055	Н30. 1.29	A-2級 モ リ タ	11, 420	登録	四輪駆動 積載水量1,5000 積載薬剤 5000 ETC業務用プレート
崎	伊勢崎救助 1 (救助Ⅲ型)	日野レンジャー	800 は 1574	H24. 2.20		11, 865	登録	四輪駆動 ETC業務用プレート
消	伊勢崎救助2 (救助II型)	日 野レンジャー	88 ら 1490	Н 7. 2.16		9, 700		非常用救助工作車
	伊勢崎梯子 1 (38m級)	日野	88 ら 2190	H11. 3.10		20, 390		全伸梯 41m
防	伊勢崎機材1	三 菱キャンター	800 す 1206	H15. 3.27		5, 525		クレーン付
署	救 急 伊 勢 崎 1 (高規格救急自動車)	ニ ッ サ ン パラメディック	800 せ 5277	H26. 1. 7		3, 275		
	救 急 伊 勢 崎 2 (高規格救急自動車)	ニ ッ サ ン パラメディック	800 せ 7555	H29. 2.16		3, 285		
北	伊勢崎北指令1	ニ ッ サ ン ク リ ッ パ ー	880 あ 2159	R 2. 3.10		1, 350		
分	伊 勢 崎 北 1 (水槽付Ⅱ型)	日野レンジャー	800 は 2289	R 3. 2. 9	A-2級 モ リ タ	11, 960	登録	四輪駆動 積載水量2,0000 CAFS装置 救助資機材 ETC業務用プレート
署	救急伊勢崎北1 (高規格救急自動車)	ニ ッ サ ンパラメディック	800 난 8914	Н31. 2.20		3, 245		
	伊勢崎南指令1	スズキハスラー	880 あ 2161	R 2. 3. 9		1,060		四輪駆動
南	伊 勢 崎 南 1 (水槽付Ⅱ型)	日野プロフィア	800 は 1375	H22. 3.12	A-2級 モ リ タ	14, 940		積載水量3,5000 CAFS装置
分	伊勢崎南機材1	ト ヨ タ ダ イ ナ	88 に 5728	Н 4. 5.26		4, 450		四輪駆動
署	救急伊勢崎南1 (高規格救急自動車)	ニッサンパラメディック	800 7 267	R 3. 1.21		3, 255	登録	
有	水 上 バ イ ク 被 牽 引 車	スペシャルトレーラーズ	80 を 1267	H14.11. 8		490		水難救助用
西	伊勢崎西指令 1 (広報連絡車)	ニッサンクリッパー	880 あ 2158	R 2. 3.10		1, 360		
分	伊 勢 崎 西 1 (水槽付Ⅱ型)	日野レンジャー		H19. 3.15	A-2級 モ リ タ	11,520	登録	四輪駆動 積載水量2,0000 救助資機材 ETC業務用プレート
署	救急伊勢崎西1 (高規格救急自動車)	トヨタハイメディック	800 년 3417	H23. 10. 23	/	3, 255		
	(回が1717)(回り)	r 11 / / 1 9 /	9411					

所	± = 4	メーカー	3% 43 亚口	野祖左 日日	ポンプ性能	車両総	緊急消防	/#: ±z.
属	車 両 名	車種	登録番号	取得年月日	製作所	重量(kg)	援助隊	備考
赤	赤 堀 指 令 1	ホ ン ダ	800난	H23. 8.23		2, 150		
	(指令車)	ステップワゴン	3285			,		(本土) 1 目 0 5000
堀	赤 堀 1	野		H18. 3.15	A-2級	14, 645		積載水量3,5000 救助資機材
消	(水槽付Ⅱ型)	プロフィア	119		モリタ			ETC業務用プレート
防	赤 堀 2 (CD-I 水槽付)	いすゞ	88 ぬ 7217	Н 9.11.25	A-2級 モ リ タ	5, 510		積載水量9000
		ニッサン	800 せ					
署	(高規格救急自動車)	パラメディック	6800	H28. 1. 5		3, 285	登録	
	東 指 令 1	ニッサン	800 す	II1E 9 10		2 060		
東	(指令車)	セレナ	1073	H15. 3.10		2, 060		
	東 1	日 野	800 は	H16. 3.18	A-2級	13, 665		積載水量3,5000
消	(水槽付Ⅱ型)	プロフィア	665		モリタ	10, 000		ETC業務用プレート
	東 2	いすゞ	88 Ø	Н 9. 3.14	A-2級	5, 510		積載水量9000
防	(CD-I 水槽付)	エルフ	5247		モリタ			
	救 急 東 1 (高規格救急自動車)	ニ ッ サ ンパラメディック	800 せ 9599	R 2. 2.27		3, 205	登録	
署	水防車	ダイルツ	41 ts					
	(広報連絡車)	ハイゼット	6600	H17. 1.21		1, 210		
	境 指 令 1	ニッサン	800 さ	II10 10 0F		0.100		
	(指令車)	セレナ	7811	H13. 10. 25		2, 100		
境	境 1	日 野	800 は	H19. 3.15	A-2級	11, 500	登録	四輪駆動 積載水量2,000 <i>0</i>
	(水槽付Ⅱ型)	レンジャー	1073	1113. 0.10	モリタ	11,000	37.34	CAFS装置
消	境 2	日 野	800 は	H23. 3.10	B-2級	12, 995		積載水量4,7000
	(小型動力ポンプ付水槽車)	レンジャー	1467		トーハツ	-		
防	境 梯 子 1 (15m級)	日 野レンジャー	800 は 1185	H20. 2.25	A-2級 モ リ タ	10, 480		積載水量9000 伸縮式固定水管路付
		日野						117111111111111111111111111111111111111
署	(資機材運搬車)	デュトロ	5410	H26. 3. 7		6, 155		四輪駆動
有	救 急 境 1	ニッサン	800 せ	HOE C CC		0.005		
	(高規格救急自動車)	パラメディック	4541	H25. 2.26		3, 265		
T:	玉 村 指 令 1	スズキ	800 せ	H25. 2.22		2, 200		
玉	(指令車)	ランディ	4533	1120. 2.22		2, 200		
村	玉 村 1	日 野	000 (0)	H19. 3.20	A-2級	14, 715		積載水量3,5000
消	(水槽付Ⅱ型)	プロフィア	1079		モリタ			救助資機材 ————————————————————————————————————
防	玉 村 2 (小型動力ポンプ付水槽車)	日 野プロフィア		H14. 3.25	B-2級 シバウラ	11, 265		積載水量4,5000
	救急玉村1	プロフィア	423 800 せ		ンハリブ			
署	(高規格救急自動車)	ー ツ ッ ン パラメディック	3645	H24. 2.14		3, 245		
	(国沙山水心日新丰)	<u> </u>	0010					

装備品一覧表

(令和3年4月1日現在)

(令和3年4月1												1111	
				消	伊	北	南	西	赤	東	境	玉	
		所	属	防	勢				堀	消	消	村	
				, .	崎巡	分	分	分	消			消	計
品	名			本	消防				防	防	防	防	
口口	祖		_	部	署	署	署	署	署	署	署	署	
SHil	ピトー	- ゲ ー	<u>-</u> ジ	2	白	白	白	白	1	白	1	1	5
測	コンプレッ		•	3					1		1	1	6
定 -	 		 計	1									1
資 -		□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		1	4	1	1	1	1	1	1	1	12
機	有毒ガ	スト検知	器		2	1		1	1	1			2
材		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	器	4	5	1		1	1	1	1		14
等		· · · · · ·				1	1	_			1	1	
-11	非接触式	・ 放 射 温 度	計	2	1	1 -	1	1	1	1	0	1	8
		4 0 mm			17	15	10	10	13	15	8		
Sale	消火ホース	5 0 mm			76 61	46 60	48	40	51	60	47 43	52 48	420
消	-	65mm	FH)			60	28	33	29	29	43	48	_
-	_ 放	65mm (梯子車 水	<u>P用)</u> 銃		1	1	1						3
T	<u> </u>		<u> </u>		1	1	1	1	1			1	5 5
火	RP型エアー			1		Т	1	Т	Т	1			3
-	背負式消火力	·			20	2	2	2	2	2	6	3	
-	送排	スシップ(丁島) 風	機		2						0		2
•		呼 吸	器		5								5
-		L30型	нн	15	25	5	5	5	8	7	10	6	
-14-	空気呼吸器	K30型		23							10		23
救 -		FRP複合 (50 30	MPa)	2	14	7	7	15	11	17	18	14	
		FRP複合 (70 30		25	46	18	17	16	22	21	15		
П÷	空気ボンベ	FRP複合 (90 30	•		5								5
助		スチール(4~			11	3	2		3		8	9	36
		潜水用 (12	Q)		6								6
活		耐熱	服		3	1	1	1	1	1	2	1	11
【白		耐 電	服		4								4
		絶縁ゴムヨ	手 袋	0	19			5	2	5	8		53
動	防護服等	防毒マス	・ク	17	11	3		3	3	3	3	3	49
到	いいを川区・寸	防塵メガ	•		6		9					8	
		化学防護		40	5								45
資		陽圧式化学防			5								5
貝			蒦 服		7				-	-			7
		ンカッタ			4	1	1	1	1	1	2	1	12
機	チェー	<u> </u>			3	1	1	1	2	1	2	1	12
1),)(1)	鉄線大		144	8	5	3		1	1	1	4	1	26
	携 带 …	発 電	機	4	5 7	1	3	1	2	3	4	2	25
材	投	<u>光</u> 投 光	器	4		1	2	1	2	2	3	2	24
. 12.1	携 帯 三 連	<u>投 光</u> は し	器ご	5 1	14	1 2	2	4	2	6	6	1	40 14
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		≻ n	T	4	2	1	2	2	2	3	1 1	17
等	<u>かぎた</u> 教命 索		 銃		2		Τ				3		2
-1		· 光 別 機 (I 型			1								1
-			<u>.</u> 機		2								2
	间 勿 凹	冰 沐 糸	17爻	<u> </u>							<u> </u>	<u> </u>	

		消	伊	北	南	西	赤	東	境	玉	
	所 属	防	勢崎				堀	消	消	村	
		本	消	分	分	分	消	防	防	消	計
品	名		防				防			防	
		部 1	署 2	署 1	署	署	署	署	署	署	4
-			3	1	1	1	1	1	1	1	10
救	エアーソー		2								2
	マット型空気ジャッキ		2	1		1	1			1	6
助	携帯用コンクリート破壊器具		2		1	1	1	1	1	1	8
	万 能 斧		8	3	2	1	1	2	4	1	22
活	ハンマー		4	1	1		1	1	1		9
-	救 助 用 滑 車		14	5	3	3	3	3	3	3	
動	空 気 式 救 助 マ ッ ト 安 全 マ ッ ト	1	1 5	2	4	1	3	1	1	2	1 20
193	安 全 マ ツ ト バ ス ケ ツ ト 担 架	1	2	1	4	1	3	1	1	۷	3
資	サバイバースリング・救命用縛帯		9	3	2	3	2	3	1	3	
貝	可搬式ウインチ	1	3	1	3	1	2	J		1	12
Lyte	張力計	1	1				1				3
機	緩降機		2						1		3
	ゴムボート(船外機を含む)		1						1	2	4
材	水 上 バ イ ク				1						1
	潜 水 器 具 一 式		6								6
等	教 命 胴 衣	22	38	8		8	13		22	16	
-	数 命 浮 浮 標	0	5 3	1	4	1	2	1	8	4	26 3
	携帯用人工呼吸・酸素蘇生器	2	2	1	1	1	1	1	1	1	11
救	携带用電動吸引器	2	2	1	1	1	1	1	1	1	11
100	ビデオ喉頭鏡	2	2	1	1	_	1	_	1	1	9
急	血 糖 測 定 器		2	1	1	1	1	1	1	1	9
167	患者監視装置 Dash3000	2									2
資	フイブスコープ		2	1	1	1	1	1	1	1	
	自 動 体 外 式 除 細 動 器 ハートスタートMR x E	1									1
機	(二相波形式) TEC-2513等	1		1	1	1	1	1	1	1	10
-	A E D AED-2151等 紫 外 線 殺 菌 装 置	2	4	3	3	3	3	3	3	3	
材			1	1	1	1	1	1	1	1	
-	高度救命処置訓練人形	4									4
等	気管挿管モデル	1		1	1	1	1	1	1	1	
-	静脈採血注射モデル		1	1	1	1	1		1	1	
	衛 星 電 話	1			1		1				4
そ	コンプレッサー	1		1	1	1	1	1	1	1	10
の	ガレージジャッキ	2		1	1	1	1	1	1	1	10
	バッテリー充電器		1	1	1	1	1		1	1	
他	ホース修理機(リング式かしめ機)		1				1		1	1	5
	携 带 拡 声 器	8	8	2	2	2	4	4	3	3	36

消防水利施設現況

(#FIIII	(令和2	消火栓 2年4月1日	現在)				防火	水槽(含	令和3年4	月1日現	在)				
種別	埋設	管口径	(φ)	公設 (m³)						私					
					20	40	60			20	40	60			プリ
	150	150	Λ ⇒I	20	5	5	5	100	20	5	5	5	100	合計	ル
管轄別	未満	以上	合 計		40	60	100			40	60	100			
目特別				未満	未満	未満	未満	以上	未満	未満	未満	未満	以上		
伊勢崎市	2,763	1,330	4,093	26	89	558	9	1	42	82	83	3	1	894	37
(伊勢崎消防署)	1,927	886	2,813	, _ ,_	11	236	8	1		5	9	1	<i></i>	271	20
(赤堀消防署)	263	102	365	4	14	152			41	70	40	1	1	323	4
(東消防署)	235	152	387	22	62	75	1		1	6	27	1		195	4
(境消防署)	338	190	528		2	95				1	7			105	9
玉村町 (玉村消防署)	346	117	463	13	33	143	4	3			2			198	8
計	3,109	1,447	4,556	39	122	701	13	4	42	82	85	3	1	1,092	45

年度別新設消火栓現況

(平成31年3月31日現在) 布設年度 30年度 埋設管口径 (φ) 26年度 27年度 28年度 29年度 計 合計 管轄別 150以上 14 23 2 39 伊勢崎消防署 103 150未満 8 14 1 22 19 5 150以上 3 8 赤堀消防署 29 2 4 21 6 150未満 150以上 8 9 19 東消防署 10 150未満 3 3 3 1 4 8 150以上 境消防署 50 42 150未満 6 10 19 29 33 2 64 150以上 計 201 150未満 21 25 11 37 137 43

伊勢崎市

【令和2年度 消防水利整備事業】

防火水槽設置工事 塚越公園 耐震性貯水槽 40 m 1 基 (鋼板+FRP)

遠矢公園 耐震性貯水槽 40㎡ 1基(鋼板+FRP)

救急



令和3年度 新型コロナウイルス感染症患者の移送対応変更に伴う研修 開催地:伊勢崎市消防本部

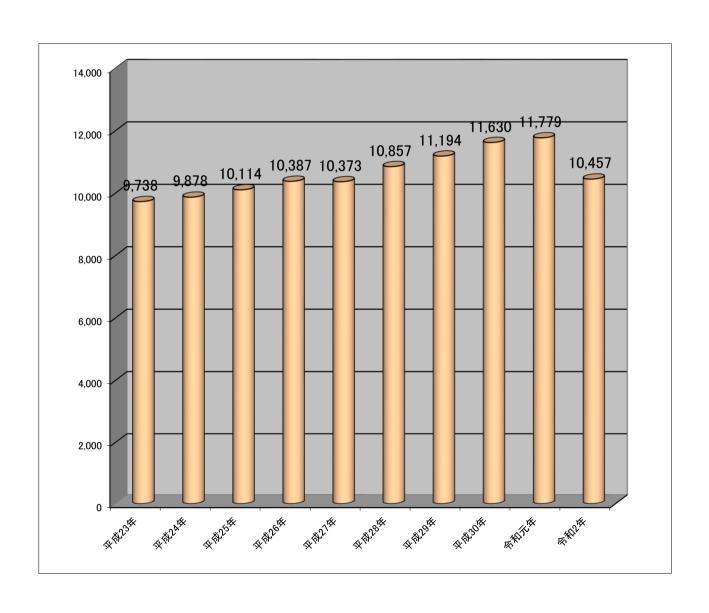
救 急 概 要

令和2年中の救急出動件数は、10,457件、搬送人員は、9,480人で前年と比較すると出動件数は1,322件減少、搬送人員は1,376人の減少となっています。

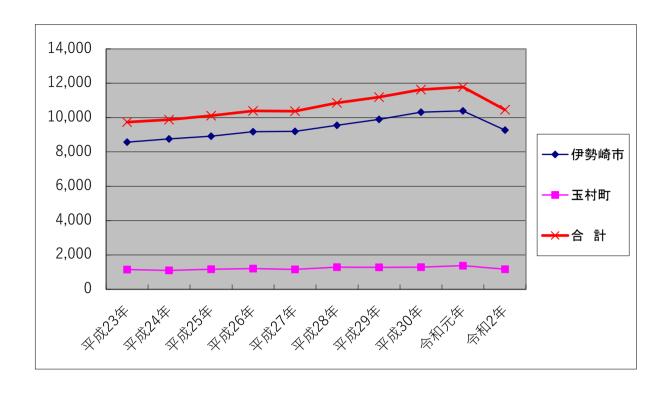
搬送状況を事故種別ごとにみると、急病が6,150人で全体の64.9%を占め、ついで一般負傷1,320 (13.9%)、交通事故890人 (9.4%)、転院搬送が805人 (8.5%)の順となっています。

救急隊により搬送された方々の程度別の状況については、中等症が4,525人で全体の47.7%を占め、ついで、軽症が3,472人(36.6%)、重症が1,357人(14.3%)の順となっています。

救 急 出 動 件 数 の 推 移



市町別救急出動件数の推移(過去10年間)



市町別年	伊勢崎市	玉村町	管 外 (高速含む)	合 計
平成23年	8,571	1,155	12	9,738
平成24年	8,760	1,100	18	9,878
平成25年	8,921	1,171	22	10,114
平成26年	9,175	1,204	8	10,387
平成27年	9,197	1,164	12	10,373
平成28年	9,551	1,293	13	10,857
平成29年	9,897	1,277	20	11,194
平成30年	10,315	1,292	23	11,630
令和元年	10,392	1,379	8	11,779
令和2年	9,274	1,168	15	10,457

救急活動概要

(수	う和2	年「	‡)

		令和2年	令和元年	前 年	比較
[区 分	A A	В В	増 減 A - B = C	増 減 率 C ÷ B
出	動件数	10,457 件	11,779 件	-1,322 件	-11.2 %
傷病	者搬送件数	9,386 件	10,749 件	-1,363 件	-12.7 %
傷病者	音不搬送件数	1,071 件	1,030 件	41 件	4.0 %
医 師	搬送件数	0 件	1 件	-1 件	-100.0 %
資器材	才等輸送件数	16 件	16 件	0 件	0.0 %
傷病	者搬送人員	9,480 人	10,856 人	-1,376 人	-12.7 %
사	男性	4,845 人	5,654 人	-809 人	-14.3 %
性別	女性	4,635 人	5,202 人	-567 人	-10.9 %
一 目 习	2均出動件数	28.7 件	32.3 件		
発	生率	50 分に 1 件	45 分に1件	伊勢崎佐波管内人	
救 急	車利用率	24 人に1人	21 人に1人	令和2年1月1日現	在 249,723 人
	万人当たりの 動 件 数	419 件	472 件	令和3年1月1日現 前年	·

救急隊別出動状況

救急隊	区分	出動 件数	構成比 (%)	前年出 動件数	増減	1ヶ月 平均	1日 平均	搬送 人員	不搬送
伊	伊勢崎署救急隊	2,850	27.25	3,093	-243	238	7.8	2,504	378
勢崎	北分署救急隊	1,478	14.13	1,639	-161	123	4.1	1,289	196
消防署	南分署救急隊	1,200	11.48	1,347	-147	100	3.3	1,099	117
4	西分署救急隊	1,160	11.09	1,298	-138	97	3.2	1,069	102
赤堀	消防署救急隊	1,071	10.24	1,225	-154	89	2.9	996	84
東消	当防署救急隊	866	8.28	1,067	-201	72	2.4	801	75
境消	当防署救急隊	893	8.54	1,020	-127	74	2.5	835	65
玉村	消防署救急隊	939	8.98	1,090	-151	78	2.6	887	54
合	計	10,457	100	11,779	-1,322	871.4	28.7	9,480	1,071

発生市町別救急出動件数

(令和2年中)

					(T/1112 + +)
事故種別	市町別	合 計	伊勢崎市	玉村町	管 外 (高速含む)
合	計	10,457	9,274	1,168	15
火	災	46	41	5	0
自然	災害事故	1	1	0	0
水	事 故	8	5	2	1
交 追	重事 故	909	810	88	11
労働!	災害事故	130	105	25	0
運動	競技事故	57	55	2	0
—	受 負 傷	1,436	1,263	172	1
加	害	35	34	1	0
自推	員 行 為	113	105	7	1
急	病	6,792	6,006	786	0
そ	転 院 搬 送	809	739	70	0
の	医 師 搬 送	0	0	0	0
	資器材等輸送	16	16	0	0
他	その他	105	94	10	1

発生市町別救急搬送人員

				(T/11/2 T/T /T/
事故種別	別 合計	伊勢崎市	玉村町	管 外 (高速含む)
合 計	9,480	8,376	1,088	16
火災	7	6	1	0
自然災害事故	1	1	0	0
水 難 事 故	3	2	0	1
交 通 事 故	890	795	83	12
労働災害事故	129	105	24	0
運動競技事故	56	54	2	0
一般負傷	1,320	1,156	163	1
加害	27	26	1	0
自 損 行 為	74	68	5	1
急病	6,150	5,411	739	0
そ の 他 (転院搬送等を含む	823	752	70	1

現場到着までの所要時間

(令和2年中)

所要時間事故種別	3分未満	3 分以上 5 分未満		10分以上 20分未満	20分以	合計 (件)	平均(分)
急 病	63	470	5,283	949	27	6,792	7.9
交通事故	5	66	609	199	30	909	9.1
一般負傷	14	91	1,129	200	2	1,436	7.7
その他	26	216	859	186	33	1,320	8.2
合 計	108	843	7,880	1,534	92	10,457	8.0

病院収容までの所要時間

(令和2年中)

<u> </u>	<u> </u>	- ' ' ' '	_			()	1/H2 /
所要時間事故種別	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	3 0 分以上 6 0 分未満	6 0 分以上	合計(人)	平均(分)
急病	0	51	1,170	4,444	485	6,150	40.4
交通事故	0	1	126	655	108	890	43.3
一般負傷	0	7	228	976	109	1,320	40.7
その他	0	21	321	687	91	1,120	39.0
合 計	0	80	1,845	6,762	793	9,480	40.6

月別救急出動件数

(令和2年中)

事故種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
急 病	652	593	582	489	501	526	502	736	515	572	534	590
交通事故	98	67	69	58	61	65	60	99	90	80	83	79
一般負傷	137	110	133	105	110	110	123	109	113	125	122	139
その他	108	101	109	94	93	99	112	125	108	136	103	132
合 計	995	871	893	746	765	800	797	1,069	826	913	842	940

曜日別救急出動件数

事故種別	月	火	水	木	金	土	田
急 病	1,038	957	1,007	1,001	934	925	930
交通事故	163	128	139	130	141	117	91
一般負傷	203	192	216	168	215	213	229
その他	224	183	204	202	241	147	119
合 計	1,628	1,460	1,566	1,501	1,531	1,402	1,369

時間別救急出動件数

中寸「日」刀」が入	令和2年中)				
事故種別 時 間	合 計	急病	交通事故	一般負傷	その他
0時 ~ 2時	456	373	17	36	30
2時 ~ 4時	362	282	17	43	20
4時 ~ 6時	409	321	31	41	16
6時 ~ 8時	779	589	70	99	21
8時 ~ 10時	1,282	814	121	197	150
10時 ~ 12時	1,319	749	116	193	261
12時 ~ 14時	1,203	691	102	153	257
14時 ~ 16時	1,081	637	92	176	176
16時 ~ 18時	1,146	654	143	172	177
18時 ~ 20時	1,057	686	112	161	98
20時 ~ 22時	768	536	61	115	56
22時 ~ 24時	595	460	27	50	58
合 計	10,457	6,792	909	1,436	1,320

救急隊員の行った応急処置件数

(令	和2	牛	<u>屮)</u>

					11 4月7 十十7
事故種別	合 計	急 病	交通事故	一般負傷	その他
応急処置等項目 応急処置対象人員	9,432	6,127	889	1,315	1,101
止血	194	21	25	107	41
固定	743	31	470	156	86
人工呼吸	98	80	5	4	9
心臓マッサージ	53	44	1	6	2
(うち自動式)	17	15	0	1	1
心肺蘇生	226	191	7	15	13
(うち自動式)	53	48	1	2	2
酸素吸入	1,522	1,186	41	70	225
気道確保	325	268	8	22	27
1. 経鼻エアウェイ	29	25	1	1	2
2. 喉頭鏡/鉗子	6	2	0	4	0
3. ラリンゲアルマスク等	8	7	0	0	1
4. 気管挿管	14	9	0	5	0
保温	1,101	761	69	117	154
被覆	439	24	116	229	70
在宅療法の継続	51	44	0	5	2
ショックパンツ	0	0	0	0	0
除細動	27	25	1	0	1
静脈路確保	110	95	4	4	7
薬剤投与	58	51	1	3	3
その他の処置	7,698	5,076	725	1,063	834
血圧測定	8,814	5,745	862	1,180	1,027
聴診器	2,504	1,826	245	235	198
血中酸素飽和度	9,167	5,929	880	1,285	1,073
心電図	6,145	4,748	253	484	660
血糖測定	97	93	2	2	0
エピペン投与	0	0	0	0	0
ブドウ糖投与	20	20	0	0	0
合 計	39,392	26,258	3,715	4,987	4,432

事故種別年齡区分別搬送人員

(会和9年由)

	以作		<u>~ 김</u> 미점	77 /7.		シノヘリ	<u> </u>					(令不	口2年中)
年齢区分	事故種別傷病程度	火災	自然 災害 事故	水難 事故	交通 事故	労働 災害 事故	運動 競技 事故	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
	死 亡												0
	重 症											2	2
新生	中等症										2	24	26
生児	軽 症							1			1	2	4
	その他												0
	計	0	0	0	0			1	0		3	28	32
	死 亡												0
	重 症							1			8	3	12
乳幼	中等症				1			11			68	10	90
児	軽 症				19			116			152		287
	その他				2								2
	計	0	0	0	22		0	128	0	0	228	13	391
	死 亡												0
	重 症				3		3	3			3	4	16
少	中等症			1	22		7	18	1		62	4	115
年	軽 症				54		19	22	3	1	105	2	206
	その他												0
	計	0	0	1	79	0	29	43	4	1	170	10	337
	死 亡					1				4	15		20
	重 症	1			20	10	2	13	2	9	163	83	303
成	中等症	4	1		130	47	10	84	3	36	880	152	1,347
人	軽 症	2			436	54	13	156	10	18	780	18	1,487
	その他									1	3		4
	計	7	1	0	586	112	25	253	15	68	1,841	253	3,161
	死 亡							3		1	90		94
뇸	重症			2	22	4		123		2	684	187	1,024
高齢	中等症				67	7	2	400	2	2	2,167	300	2,947
者	軽 症				114	6		368	6		962	32	1,488
	その他							1			5		6
	計	0		2	203	17	2	895	8		3,908		5,559
	死亡	0		0	0	1	0	3	0	5	105		114
	重症	1		2	45	14	5	140	2	11	858		1,357
合	中等症	4	1	1	220	54	19	513	6	38	3,179		4,525
計	軽症	2	0	0	623	60	32	663	19	19	2,000		3,472
	その他	0	0	0	2	0	0	1	0	1	8		12
	計	7	1	3	890	129	56	1,320	27	74	6,150	823	9,480

急病に係る疾病・傷病程度別搬送人員 (令和2年中)

70171 - 1	7 1 V 7		(114H21T)								
分類項目 傷病程度	脳疾患	心疾患	消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確 の状態	合 計
死 亡	0	19	1	1	0	0	0	2	51	31	105
重 症	142	140	40	181	1	4	6	32	222	90	858
中等症	298	217	344	351	25	51	100	41	1, 352	400	3, 179
軽 症	95	61	155	94	61	52	78	1	1, 094	309	2, 000
その他	1	0	0	0	1	0	0	0	6	0	8
合 計	536	437	540	627	88	107	184	76	2, 725	830	6, 150

住民に対する応急手当普及啓発活動の実施状況

区分	平成6年	三~30年	令和力	元年中	令和:	2年中	累 (平成6年か	計 ら令和元年)
所属	回数	参加人員	回数	参加人員	回数	参加人員	回数	参加人員
伊勢崎消防署	789	17,529	38	782	5	133	832	18,444
北分署	377	7,415	8	133	0	0	385	7,548
南分署	346	6,600	8	101	1	12	355	6,713
西分署	190	3,615	6	94	2	50	198	3,759
赤堀消防署	285	5,701	8	95	5	88	298	5,884
東消防署	217	4,375	9	126	3	50	229	4,551
境消防署	477	7,812	14	238	0	0	491	8,050
玉村消防署	413	8,828	19	347	0	0	432	9,175
合 計	3,094	61,875	110	1,916	16	333	3,220	64,124

応急手当普及啓発活動の推移

(過去10年間)

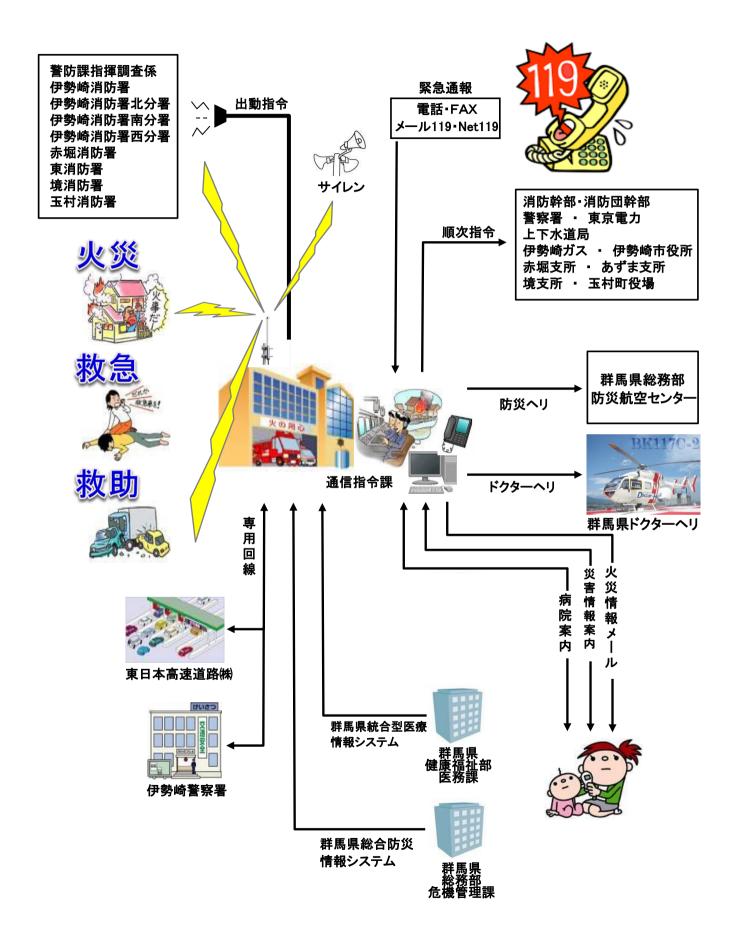
年区分	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
実施回数	170	170	144	182	151	141	144	125	110	16
受講者数	3,152	3,211	2,822	3,547	2,582	2,661	2,519	2,362	1,916	333

通信指令

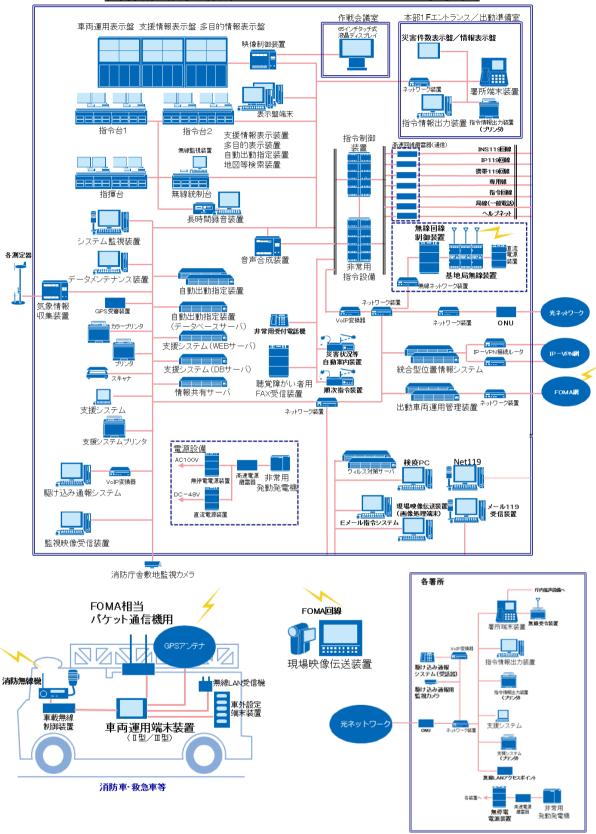


高機能消防指令センター

通信指令系統図



高機能消防指令センター システム系統図



無線通信設備一覧

デジタル波:活動波1~3/主運用波7/統制波1~3

所属	車両名等	装置	
	指令センター	基地	
	伊勢崎本部1号車	車載	
	伊勢崎本部2号車	車載	
	伊勢崎本部3号車	車載	
	伊勢崎本部 4 号車	車載	
	伊勢崎本部 5 号車	車載	
	伊勢崎本部6号車	車載	
消	伊勢崎本部支援1号車	車載	
防本	伊勢崎本部機材1号車	車載	
部	救急伊勢崎3号車	車載	
	救急伊勢崎 4 号車	車載	
	伊勢崎本部調査1号車	車載	
	伊勢崎本部指揮1号車(2台)	車載	
	警防課(1台)	可搬	
	通信指令課(2台)	可搬	
	警防課(5台)	携帯	
	通信指令課(2台)	携帯	
	伊勢崎指令1号車	車載	
	伊勢崎 1 号車	車載	
	伊勢崎水槽1号車	車載	
/ 2 .	伊勢崎化学1号車	車載	
伊勢	伊勢崎救助1号車	車載	
崎消	伊勢崎救助2号車	車載	
防署	伊勢崎梯子 1 号車	車載	
	伊勢崎機材 1 号車	車載	
	救急伊勢崎 1 号車	車載	
	救急伊勢崎 2 号車	車載	
	伊勢崎消防署(9台)	携帯	

所属	車両名等	装置
	伊勢崎北指令1号車	車載
北分	伊勢崎北1号車	車載
署	救急伊勢崎北1号車	車載
	伊勢崎消防署北分署(4台)	携帯
	伊勢崎南指令1号車	車載
南	伊勢崎南1号車	車載
E分 署	伊勢崎南機材 1 号車	車載
有	救急伊勢崎南1号車	車載
	伊勢崎消防署南分署(4台)	携帯
	伊勢崎西指令1号車	車載
西公	伊勢崎西1号車	車載
分署	救急伊勢崎西1号車	車載
	伊勢崎消防署西分署(4台)	携帯
	赤堀指令1号車	車載
赤堀	赤堀 1 号車	車載
消防	赤堀 2 号車	車載
署	救急赤堀1号車	車載
	赤堀消防署(5台)	携帯
	東指令1号車	車載
東	東1号車	車載
消防	東2号車	車載
署	救急東1号車	車載
	東消防署(5台)	携帯

所属	車両名等	装置
	境消防署	卓上
	境指令1号車	車載
	境1号車	車載
境 消	境2号車	車載
防 署	境梯子1号車	車載
	境機材 1 号車	車載
	救急境1号車	車載
	境消防署(6台)	携帯
	玉村消防署	卓上
玉	玉村指令1号車	車載
村消	玉村1号車	車載
防	玉村2号車	車載
署	救急玉村1号車	車載
	玉村消防署(6台)	携帯

119番通報受信状況

(令和2年中)

種別回線種別	火災	救急	救助	その他の災害	災害等 問合せ	病院等 問合せ	いたずら	間違い 無言等	通報訓練	試験	携帯転送	その他	合計
119 加 入	25	2,359	6	35	14	20	4	127	254	703	0	205	3,752
119 携 帯	114	4,608	48	82	24	165	12	470	46	47	209	505	6,330
119 I P	35	3,001	7	15	4	33	0	64	342	25	4	131	3,661
合 計	174	9,968	61	132	42	218	16	661	642	775	213	841	13,743

災害情報案内テレホンサービス利用状況 **20180-99-2999**

(平成30年~令和2年)

年別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
平成30年	503	584	552	426	550	655	313	257	191	251	267	479	5,028
令和元年	306	480	543	324	512	224	293	420	332	283	206	480	4,403
令和2年	438	285	198	190	523	294	199	379	231	250	390	348	3,725

火災情報メール配信サービス利用状況

(平成30年~令和2年)

年別	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成30年	登録件数	6,603	6,418	6,516	6,551	6,688	6,794	6,868	6,197	6,216	6,247	6,283	6,329
	配信回数	22	10	8	8	14	16	8	6	2	6	6	14
令和元年	登録件数	6,390	6,444	6,557	6,596	6,675	6,712	6,724	6,758	6,774	6,819	6,858	6,936
	配信回数	8	16	12	6	6	2	4	6	4	8	4	12
令和2年	登録件数	7,016	7,080	7,105	7,126	7,214	7,249	7,293	7,386	7,427	7,501	7,565	7,645
	配信回数	18	14	6	2	9	9	8	20	6	10	12	10

※配信回数については建物火災の情報を配信したものです。

救急病院等案内テレホンサービス利用状況 ☎0270-23-1299

(平成30年~令和2年)

年別 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
平 成 30 年	703	468	395	528	621	443	579	602	563	487	491	617	6,497
令 和 元 年	839	485	465	611	822	523	620	721	678	575	633	740	7,712
令 和 2 年	742	473	382	297	489	390	517	609	520	399	428	407	5,653

救急病院等案内テレホンサービス科目別案内状況

利	· 目	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
内		科	151	68	38	55	71	54	78	97	75	53	48	50	838
小	児	科	212	139	98	66	51	77	84	108	99	86	80	61	1,161
外		科	43	24	34	19	54	38	31	48	30	24	32	34	411
脳	神経	外 科	39	31	31	20	38	24	32	35	50	40	30	32	402
産	婦	人科	6	2	2	5	5	5	7	3	2	2	4	5	48
整	形	小 科	162	113	104	68	175	117	169	171	156	121	144	133	1,633
泌	尿 器	器 科	7	5	3	8	12	4	12	15	10	8	12	8	104
耳	鼻咽	喉 科	34	25	34	15	18	22	15	37	18	17	17	13	265
眼		科	32	29	10	11	21	16	29	40	23	14	20	25	270
精	神	科	3	3	3	1	2	2	4	1	1	0	1	4	25
皮	膚	科	20	9	12	12	24	16	30	33	36	21	17	24	254
歯		科	15	8	5	7	11	7	12	7	8	3	9	7	99
そ	の	他	18	17	8	10	7	8	14	14	12	10	14	11	143
合		計	742	473	382	297	489	390	517	609	520	399	428	407	5,653

気 象 情 報 発 表 状 況

			H H.I												(令和	2年中)
項目			月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
	暴	風	雪													
	大		画						1							1
盐分	洪		水						1							1
数	暴		風													
報	大		雪													
	波		浪													
	高		潮													
	小		計						2							2
	大		雨	1			1		6	4			1			13
	大		雪	1												1
	風		雪													
		雷			1	2	7	11	14	18	25	9				87
	強		風	1	1	3	1								1	7
	波		浪													
注	融		雪													
	洪		水						5	1						6
意	高		潮													
	濃		霧	2	3	5	3	4	5	10	1		2	1	1	37
報	乾		燥		3	2	1	1								7
	な	だ	れ													
	低		温													
		霜				5	2									7
	着		氷													
	着		雪	1												1
	小		計	6	8	17	15	16	30	33	26	9	3	1	2	166

消防音楽隊

消防音楽隊は音楽を通じて「火災予防の普及」及び「消防士気の高揚」、「住民との融合」などを 目的として昭和39年に設立されたものである。

全国的にもその歴史は古く、隊発足時には15名の隊員構成であったが、新旧交代を幾度か繰り返し、現在は61名で活動している。

若い隊員が多く消防職員としての仕事の傍ら、消防行事から各種公式行事、市民行事まで幅広く参加し、消防広報の一翼を担っている。

(名称の変遷)

伊勢崎市消防音樂隊伊勢崎佐波消防組合消防音樂隊伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合消防音樂隊伊勢崎市消防音樂隊

昭和39年 2月 7日発足

昭和46年 4月 1日

昭和47年10月 1日

平成17年 1月 1日



創立50周年記念コンサート (伊勢崎市境総合文化センター)

消防音楽隊編成表

(令和3年4月1日現在)

	限比公历					-4月Ⅰ日現仕 <i>)</i>
パート	階級 ———	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合 計
指 揮	者	1				1
フルート・1	ピッコロ	2		2	1	5
才 一	ボ エ					0
クラリネ	ネット	3	1	3	1	8
ソプラノサ	・ックス					0
アルトサ	ックス	1	2	1		4
テナーサ	ックス		2	1		3
バリトンサ	・ックス			2		2
トラン〜	ペット	4	2	4		10
フレンチ	ホルン	1		4	1	6
トロンオ	ボーン	1	1	2	2	6
ユーフォ	ニウム	1	1	2		4
テュ	ー バ	1	1	1		3
パーカッ	ション	1	3	2	3	9
合	計	16	13	24	8	61

歴代の音楽隊長

		<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>		
代	氏	名		其	間	
初代	栗原 秀	夫 氏	昭和39年	2月	7日~昭和44年	3月31日
2代	木口	実 氏	昭和44年	4月	1日~昭和49年	3月31日
3代	新井 周	雄 氏	昭和49年	4月	1日~昭和51年	3月31日
4代	井埜宗	市氏	昭和52年	4月	1日~昭和53年	3月31日
5代	多田紀	一 氏	昭和53年	4月	1日~昭和54年	3月31日
6代	栗原秀	夫 氏	昭和54年	4月	1日~昭和56年	3月31日
7代	栗原 康	二氏	昭和56年	4月	1日~昭和57年	3月31日
8代	新井 周	雄 氏	昭和57年	4月	1日~平成 3年	3月31日
9代	栗原清	二氏	平成 3年	4月	1日~平成 8年	5月31日
10代	竹澤	茂 氏	平成 8年	6月	1日~平成11年	3月31日
11代	細井 喜	也 氏	平成11年	4月	1日~平成21年	3月31日
12代	西野目心	吾 氏	平成21年	4月	1日~平成28年	9月30日
13代	倉金 寛	政 氏	平成28年	10月	1日~令和 3年	3月31日
14代	阿久津友(寛	令和 3年	4月	1日~	

派遣状況の推移

年 度	派遣回数	年 度	派遣回数	
平成23年度	13	平成28年度	14	
平成24年度	11	平成29年度	14	
平成25年度	15	平成30年度	11	
平成26年度	12	令和 元 年度	8	
平成27年度	11	令和 2 年度	0	

令和2年度派遣状況

令和2年度の派遣については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点からすべて中止となりました。

※≪参考≫令和元年度派遣状況

日		時	行	事	名	派遣 隊員数	場所
8月10日	(土)	14時00分~	いせさきまつ	つりオープニンク	ゲイベント	23	伊勢崎市本町通り
8月12日	(月)	17時00分~	群馬オープ	゚ンソフトボール	開会式	26	伊勢崎市ソフトボール場
9月21日	(土)	8時15分~	関東選抜古	希還曆軟式野球	開会式	27	伊勢崎市野球場
9月27日	(金)	9時00分~	玉村町戦没	者追悼式		30	玉村町文化センター
11月 4日	(月)	8時00分~	伊勢崎市シ	ルクトーナメン	卜開会式	26	伊勢崎市野球場
11月14日	(木)	13時30分~	伊勢崎市戦	没者追悼式		25	境総合文化センター
1月13日	(月)	11時00分~	伊勢崎市消	防出初式		30	境総合文化センター
2月 2日	(日)	10時30分~	玉村町消防	出初式		22	玉村八幡宮

消防団



救助資機材取扱い訓練 (令和2年10月18日 伊勢崎市消防本部)

伊勢崎市消防本部管轄区域の消防団

伊勢崎市消防団 • 玉村町消防団

伊勢崎市消防本部管轄区域の消防団現況配置図

(令和3年4月1日現在)

所在地〔事務局〕

伊勢崎市消防団 群馬県伊勢崎市今泉町二丁目895 「消防本部総務課消防団係〕 TEL. 0270-25-3511 第1・第2方面隊 伊勢崎市今泉町二丁目895 [伊勢崎消防署総務係] TEL. 0270-25-3918 赤堀方面隊 伊勢崎市西久保町二丁目341-3 [赤堀消防署総務係] TEL. 0270-62-0230 東 方 面 伊勢崎市東小保方町3238 [東消防署 総務係] TEL. 0270-62-8980 伊勢崎市境荻原175 TEL. 0270-74-0012 境 方 面 隊 [境消防 署総務係] 玉村町消防団 佐波郡玉村町大字下新田201 [玉村町環境安全課] TEL. 0270-65-2511



伊勢崎市消防団の沿革

1. 市町村合併以前

○伊勢崎市消防団

- 明治27年 8月 従来の伊勢崎火防組を伊勢崎消防組と改編し、3部制、定数183人、腕用ポンプ3台となる。
- 大正15年12月 3部制を6部制に改組、定数77人に減員する。
- 昭和 3年11月 6部制を5部制に改組、定数73人に減員する。
- 昭和15年 9月 殖蓮村・茂呂村合併により伊勢崎市警防団に改組、8個分団、定数846人となる。
- 昭和21年 7月 伊勢崎市警防団改編により、定数432人に減員する。
- 昭和22年12月 伊勢崎市警防団を伊勢崎市消防団に改称
- 昭和26年10月 全分団に自動車ポンプを配置、定員1個分団15人、自動車ポンプ13台、定数185人となる。
- 昭和26年12月 伊勢崎市消防団常備消防部を10人増員し、計26人となる。
- 昭和30年 1月 三郷村合併により、手引きガソリンポンプ3台、団員50人を増員する。
- 昭和30年 3月 宮郷村・名和村・豊受村合併により、伊勢崎市消防団は、18個分団341人、自動車ポンプ16台、 手引きガソリンポンプ5台となる。
- 昭和46年 4月 組織再編により、伊勢崎市消防本部伊勢崎消防団から伊勢崎佐波消防組合伊勢崎消防団となる。 (18個分団(うち2部制3個分団)319人)
- 昭和47年10月 組織再編により、伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合伊勢崎消防団となる。
- 昭和53年 7月 第2分団1部を第2の1分団に第2分団2部を第2の2分団に、第9分団1部を第9の1分団に第9 分団2部を第9の2分団に組織改編し、分団数が18個分団から20個分団(1個分団のみ2部制) となる。
- 昭和54年 4月 団本部に分団長級3人増員、定数320人となる。
- 昭和60年 4月 消防団が市に帰属、伊勢崎市消防団となる。
- 平成 8年 4月 第1分団1部を第1の1分団に第1分団2部を第1の2分団に組織改編し、分団数が20個から21個分団となる。

○赤堀町消防団

- 明治27年11月 赤堀消防組を設置する。
- 昭和14年 4月 赤堀警防団と改称、定数434人となる。
- 昭和22年 4月 赤堀消防団と改称する。
- 昭和39年 1月 赤堀消防団編成6個分団、定数104人となる。
- 昭和46年 4月 組織再編により伊勢崎佐波消防組合赤堀消防団となる。(6個分団104人)
- 昭和47年 9月 群馬県消防ポンプ操法大会において、赤堀消防団第2分団が優勝する。
- 昭和47年10月 組織再編により、伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合赤堀消防団となる。
- 昭和48年 4月 赤堀消防団が優秀消防機関として、県知事から表彰状及び表彰旗を授与される。
- 昭和60年 4月 消防団が町に帰属、赤堀町消防団となる。

○東村消防団

- 明治28年 消防組6部を設置する。(警察の管理下)
- 昭和14年 1月 警防団令が公布され、警防団となる。
- 昭和23年 3月 消防組織法が施行され、消防団となる。(4個分団89人)
- 昭和45年 4月 東村消防団4個分団、88人となる。
- 昭和46年 4月 組織再編により、伊勢崎佐波消防組合東消防団となる。
- 昭和47年10月 組織再編により、伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合東消防団となる。
- 昭和60年 4月 消防団が村に帰属、東村消防団となる。

○境町消防団

- 明治27年11月 公設消防組を5組(境・采女・剛志・島・世良田)設置する。
- 昭和14年 4月 公設消防組合を廃止、公設警防団となる。
- 昭和22年 4月 公設警防団廃止、消防団となる。
- 昭和30年 3月 町村合併により境町・采女村・剛志村・島村が廃止され境町になり、境消防団を設置する。
- 昭和32年11月 新田郡世良田村の一部を合併、7個分団を増設して、23個分団となる。
- 昭和36年 4月 消防団改編(分団統合) 23個分団を18個分団に改編する。
- 昭和37年 4月 消防団改編(分団統合)18個分団を14個分団に改編、定数265人となる。
- 昭和42年 4月 消防団改編9分団9部制、定数234人に改編する。
- 昭和46年 4月 組織再編により伊勢崎佐波消防組合境消防団となる。(9個分団(うち3部制1個分団、2部制3分 団234人)
- 昭和47年10月 組織再編により、伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合境消防団となる。
- 昭和55年 4月 消防団組織改編により部制を廃止、9分団9部制から14分団となる。定数234人となる。
- 昭和60年 4月 消防団が町に帰属、境町消防団となる。
- 平成 2年 4月 消防団条例の改正により、副団長3人、団員定数219人となる。

2. 市町村合併後

- 平成17年 1月 市町村合併に伴い、伊勢崎市消防団(定数320人)が伊勢崎市伊勢崎消防団に、赤堀町消防団(定数104人)が伊勢崎市赤堀消防団に、東村消防団(定数91人)が伊勢崎市東消防団に、境町消防団(定数219人)が、伊勢崎市境消防団に名称変更する。
 - 1月 玉村町と消防団相互応援協定を締結する。
 - 3月 太田市と消防相互応援協定を締結する。
- 平成18年 2月 前橋市及び桐生市と消防団相互応援協定を締結する。
 - 3月 みどり市と消防団相互応援協定を締結する。
- 12月 伊勢崎市伊勢崎消防団第1の2分団及び第17分団に消防ポンプ自動車CD-I型を更新し配備する。
- 平成19年 4月 消防団の一元化と組織の改編に伴い、4消防団を統合し伊勢崎市消防団(1本部5方面隊、定数73 4人)を配置する。
 - 4月 初代消防団長に吉岡伸也氏が就任する。
 - 12月 伊勢崎第1方面隊第4分団及び伊勢崎第2方面隊第16分団に消防ポンプ自動車CD-I型を更新し 配備する。
- 平成20年 2月 伊勢崎第1方面隊第1の1分団詰所を赤石地区整備事業に伴い、曲輪町28番23号から曲輪町27 番7号に新築移転する
 - 4月 第2代消防団長に小堀和行氏が就任する。
 - 4月 深谷市及び本庄市と消防団相互応援協定を締結する。
 - 12月 伊勢崎第1方面隊9の1分団詰所を北関東自動車道波志江スマートインター設置に伴い、波志江町2 574番地から波志江町2638番地2に新築移転する
- 平成21年 1月 伊勢崎第1方面隊第11分団及び伊勢崎第2方面隊第2の1分団に消防ポンプ自動車CD-I型を更新し配備する。
 - 4月 組織の改編により団本部員の副方面隊長の階級を副団長から分団長に改め、副団長階級を16人から 5人、分団長階級を45人から56人とする。併せて、伊勢崎第1方面隊及び伊勢崎第2方面隊から 伊勢崎を削除し、それぞれ第1方面隊、第2方面隊に改称する。
 - 4月 第3代消防団長に矢内昌春氏が就任する。
 - 5月 消防庁長官表彰を受章する。
 - 7月 組織の改編により、部長階級を廃止し定数を735人とする。
 - 12月 第2方面隊第2の2分団及び第18分団に消防ポンプ自動車CD-I型を更新し配備する。
- 平成22年 3月 境方面隊第1分団に消防ポンプ自動車CD-I型(900リットル水槽付)を更新し配備する。(経済危機対策臨時交付金事業)
 - 4月 第4代消防団長に齋藤本目氏が就任する。
 - 4月 伊勢崎市消防団の災害対応車として、境消防署配備の普通ポンプ自動車 (CD-I型900リットル 水槽付)を配置換えし、車両運用の効率化を図るため、消防本部配備の防火号を伊勢崎消防署に、東 方面隊本部配備の水防車を東消防署に、境方面隊本部配備の水防車を境消防署に配置換えをする。
- 平成23年 1月 境方面隊第2分団及び第8分団に消防ポンプ自動車CD-I型を更新し配備する。
 - 4月 第5代消防団長に矢内豊氏が就任する。
 - 5月 群馬県知事総合表彰を受章する。
- 平成24年 1月 東方面隊第3分団及び境方面隊第14分団に消防ポンプ自動車CD-I型を更新し配備する。
- 平成25年 2月 第2方面隊第8分団に消防ポンプ自動車CD-I型、赤堀方面隊第1分団に消防ポンプ自動車CD-I型(900リットル水槽付)を更新し配備する。
- 平成25年 4月 伊勢崎市消防団の組織等に関する規則の一部改正を行い、副団長と方面隊長の兼務を解き、副団長及 び方面隊長を専任とする。また、団本部を17名から18名に増員する。
- 平成26年 2月 第1方面隊第12分団に消防ポンプ自動車CD-I型、境方面隊第11分団に消防ポンプ自動車水I-A型(1,500リットル水槽付)を更新し配備する。
- 平成26年11月 境消防署に総務省消防庁より借受した救助資機材搭載型消防ポンプ自動車を、伊勢崎市消防団の災害 対応車として更新し配備する。
- 平成27年 2月 第1方面隊第1の1分団及び第10分団に消防ポンプ自動車CD-I型を更新し配備する。
- 平成28年 2月 東方面隊第4分団及び境方面隊第13分団に消防ポンプ自動車CD-I型を更新し配備する。
- 平成29年 2月 第2方面隊第13分団及び境方面隊第5分団に消防ポンプ自動車CD-I型を更新し配備する。
 - 3月 日本消防協会定例表彰を受章する。
 - 4月 伊勢崎市消防団の組織等に関する規則の一部改正を行い、赤堀方面隊本部の副方面隊長職を2人から 1人とし、団本部の定数が18人から17人に減員する。
- 平成30年 2月 第1方面隊第5分団及び赤堀方面隊第6分団に消防ポンプ自動車CD-I型を更新し配備する。
 - 4月 第6代消防団長に諏訪耕平氏が就任する。
- 平成31年 2月 第2方面隊第6分団及び第14分団に消防ポンプ自動車CD-I型を更新し配備する。
- 令和 2年 2月 第1方面隊第3分団及び境方面隊第10分団に消防ポンプ自動車CD-I型(普通免許対応)を更新 し配備する。
- 令和 2年 4月 伊勢崎市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正を行い、機能別消防団員制度 を導入する。
- 令和 2年10月 救助活動用資機材(エンジンカッター、チェーンソー、油圧切断機)を第1方面隊、赤堀方面隊及び 東方面隊に各1台配備する。

- 令和 2年12月 第1方面隊第9の1分団及び東方面隊第2分団に消防ポンプ自動車CD-I型(普通免許対応)を更 新し配備する。
- 令和 2年 1 2月 第 1 方面隊第 1 1 分団詰所の老朽化に伴い、東上之宮町 3 2 7 から東上之宮町 4 3 9 2 に新築移転する。
- 令和 3年 2月 水災活動用資機材として、ボートを第1、第2両方面隊で1艇、境方面隊に1艇配備する。また、排水ポンプを第1、第2両方面隊で1台、境方面隊で1台配備する。

伊勢崎市消防団組織表

	h 14	===++ lub	41 11		1	団 員	配	置	団 員 配 置						
	名 称	所在地	区 域	団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	計					
	団本部	今泉町二丁目895 (消防本部総務課内)	伊勢崎市管内一円	1	8	8				17					
	方面隊本部	今泉町二丁目895 (伊勢崎消防署内)	第1方面隊管內一円		隊長 (1)	副隊長 (2)				(3)					
	1の1分団	曲輪町27-7	曲輪町一区・二区・三区・大手町一区・二区・三区・四区・平和町一区・二区・三区・若葉町一区			1	1	2	11	15					
	1の2分団	柳原町 7 0 - 1	喜多町区・宗高町区・柳原町区 寿町区・華蔵寺町区・末広町区			1	1	2	11	15					
	3分団	宮前町161	昭和町区・宮前町区 東本町区・下植木町区			1	1	2	11	15					
第 1 方	4分団	上植木本町2309-11	三和町曙区・三和町堤区・三和町書 上区・本関町区・鹿島町植木区・鹿 島町中下区・上植木本町区			1	1	2	11	15					
面隊	5 分団	上諏訪町1588	豊城町区・上諏訪町区・日乃出町下 諏訪町区・日乃出町神谷区			1	1	2	11	15					
	9の1分団	波志江町2638-2	波志江町一丁目区・波志江町二丁目 区・波志江町三丁目区			1	1	2	11	15					
	9の2分団	安堀町264	安堀町区・太田町区			1	1	2	11	15					
	10分団	宮子町1170-6	稲荷町区・宮子町区			1	1	2	11	15					
	11分団	東上之宮町439-2	田中町区・上之宮町区・宮古町区			1	1	2	11	15					
	1 2 分団	連取町3331-1	連取本町区・連取元町区 連取町区・田中島町区			1	1	2	11	15					
	方面隊本部	今泉町二丁目895 (伊勢崎消防署内)	第2方面隊管內一円		隊長 (1)	副隊長 (2)				(3)					
	2の1分団	三光町7-50	本町一区・三光町区・若葉町二区			1	1	2	11	15					
	2の2分団	中央町24-10	本町二区・中央町一区・二区・三 区・緑町区			1	1	2	11	15					
	6 分団	今泉町一丁目1233-1	上泉町区・八坂町区 今泉町一丁目区・今泉町二丁目区			1	1	2	11	15					
	7分団	茂呂町二丁目3318-5	北千木町区・南千木町区 茂呂町一丁目区・茂呂町二丁目区			1	1	2	11	15					
第 2	8分団	茂呂南町4479	美茂呂町区・ひろせ町区 茂呂南町区・新栄町区			1	1	2	11	15					
方面	13分団	山王町393-6	今井町区・山王町区			1	1	2	11	15					
隊	14分団	柴町629-3	韮塚町区・阿弥大寺町区・柴町区			1	1	2	11	15					
	15分団	福島町29-1	堀口町区・中町区・戸谷塚町区 福島町区・八斗島町区			1	1	2	11	15					
	16分団	富塚町2419-5	除ヶ町区・大正寺町区・富塚町区 下道寺町区			1	1	2	11	15					
	17分団	馬見塚町1046	馬見塚天神町区・馬見塚三ツ橋町 区・馬見塚中町区・馬見塚本町区・ 馬見塚渕町区・馬見塚清水町区・リ バータウン広瀬区・羽黒町区			1	1	2	11	15					
	18分団	下蓮町18-6	長沼本郷町区・長沼町区・上蓮町区・下蓮町区・国領町区・飯島町区			1	1	2	11	15					

	名 称	所在地	区 堿 -		<u>\</u>	 員	配	置		
	和 你	別在地	<u></u>	団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	計
	方面隊本部	西久保町二丁目341-3 (赤堀消防署内)	赤堀方面隊管内一円		隊長 (1)	副隊長 (1)				(2)
	1 分団	西久保町一丁目55	西久保町一丁目区・西久保町二丁目 区・曲沢町区・赤堀今井町一丁目 区・赤堀今井町二丁目区			1	1	3	15	20
赤堀	2分団	赤堀鹿島町523-2	赤堀鹿島町区・間野谷町区			1	1	2	11	15
方面隊	3分団	香林町二丁目1295-8	香林町一丁目区・香林町二丁目区			1	1	2	11	15
150	4分団	西野町495	野町区・磯町区・西野町区			1	1	2	11	15
	5 分団	下触町999-1	下触町区・五目牛町区			1	1	2	11	15
	6 分団	市場町二丁目360	西久保町三丁目区・堀下町区 市場町一丁目区・市場町二丁目区			1	1	3	15	20
	方面隊本部	東小保方町3238 (東消防署内)	東方面隊管内一円		隊長 (1)	副隊長 (1)				(2)
由	1 分団	東町2597-2	小泉町区・東町区・八寸町区 西小保方町区			1	1	3	17	22
東方面隊	2 分団	東小保方町3339-1	下代区・平井町区・下谷区・下区 新町区・三室町区			1	1	3	17	22
H.V.	3分団	田部井町一丁目1433-1	田部井上区・田部井下区・向原区 上田町区			1	1	3	17	22
	4分団	国定町一丁目1250-32	東国定上区・東国定下区 西国定上区・西国定下区			1	1	3	17	22
	方面隊本部	境萩原 1 7 5 3 (境消防署内)	境方面隊管内一円		隊長 (1)	副隊長 (2)				(3)
	1 分団	境東279	境東町区・諏訪町区・元町区 南町区・境仲町区・上町区 萩原町区・清水町区・美原区			1	1	3	15	20
	2分団	境伊与久2537-1	伊与久一区・二区・三区			1	1	2	11	15
	3分団	境木島 4 2 4 - 6	百々東区・百々区・木島区			1	1	2	11	15
	4分団	境上渕名1143-1	上渕名区			1	1	2	11	15
	5 分団	境下渕名1857-8	下渕名六区・下渕名七区			1	1	2	11	15
境方	6 分団	境東新井452-1	東新井区			1	1	2	11	15
面隊	7分団	境下武士460-1	上武士区・下武士西区・下武士東区			1	1	2	11	15
	8分団	境保泉880-2	保泉区・保泉一丁目区			1	1	2	11	15
	9 分団	境小此木463-4	小此木区			1	1	2	11	15
	10分団	境島村43-1	中島区・北向区・西島前河原区			1	1	2	11	15
	11分団	境島村2594-1	新地区・新野新田区・立作区			1	1	2	11	15
	12分団	境平塚1221-5	平塚区・南米岡区・北米岡区			1	1	2	11	15
	13分団	境三ツ木239-9	境新栄区・栄町区・女塚区・三ツ木 区			1	1	2	11	15
	14分団	境上矢島905-1	西今井区・上矢島区			1	1	2	11	15
		合	計	1	53	8	45	97	531	735

- ※ 表中の()は兼務者を示す
- ※ 表中の隊長は方面隊長、副隊長は副方面隊長を示す
- ※ 機能別消防団員は、本部又は方面隊本部若しくは分団に所属し、条例定数 (735人) の範囲内とする。

伊勢崎市消防団車両一覧表

記尽	東東		₩ A3.4% □.	双 紀左日日	ポ	ン	プ	原重		備 考
所属	車両名	メーカー	登録番号	登録年月日	製作所	型式	級別	燃料	排気量	備考
	団本部車	ニッサン	800 す 1151	H15. 3. 17				ガソリン	1, 900	第1・第2 方面隊と兼用
本部	団本部2号車	トヨタ	800 世 8886	Н31. 1. 24				ガソリン	2, 690	第1・第2 方面隊と兼用
	災害対応車	いすゞ	800 난 6001	H26. 11. 27	モリタ	二段バランス タービン	A-2	軽油	2, 990	C D - I 型 (救助資機材搭載)
	1の1分団	トヨタ	800 せ 6119	H27. 2. 5	11	11	11	11	4,000	C D − I 型 (可搬C − 1 積載)
	1の2分団	日野	830 た 1102	H18. 12. 7	11	11	11	11	11	CD-I型
	3 分団	トヨタ	800 世 9551	R2. 1. 21	11	11	11	"	2, 980	C D − I 型 (可搬C − 1 積載) (普通免許対応)
第	4分団	日野	800 す 9801	H19. 12. 17	11	11	11	11	4,000	CD-I型
1 方	5 分団	トヨタ	800 난 8190	Н30. 1. 19	11	IJ	11	IJ	11	II.
面隊	9の1分団	トヨタ	800 そ 187	R2. 11. 19	11	11	II.	"	2, 980	CD−I型 (普通免許対応)
	9の2分団	ニッサン	800 さ 1696	H11. 11. 24	11	11	11	"	4,000	C D − I 型 (可搬C − 1 積載)
	10分団	トヨタ	800 せ 6120	H27. 2. 5	"	"	"	"	"	CD-I型
	11分団	トヨタ	800 난 768	H20. 11. 19	"	"	"	"	"	C D − I 型 (可搬C − 1 積載)
	1 2 分団	トヨタ	800 せ 5322	H26. 2. 4	11	11	11	"	11	CD-I型
	2の1分団	トヨタ	800 난 767	H20. 11. 19	"	"	"	"	"	C D − I 型 (可搬 C − 1 積載)
	2の2分団	トヨタ	800 せ 1723	H21. 11. 16	"	"	"	"	"	CD-I型
	6 分団	トヨタ	800 난 8916	H31. 2. 13	11	11	11	"	11	II
	7 分団	いすゞ	88 ね 143	H10. 11. 30	"	"	"	"	"	n.
第	8 分団	トヨタ	800 せ 4990	H25. 2. 6	"	11	"	"	"	C D − I 型 (可搬C − 1 積載)
2 方 面	13分団	トヨタ	800 世 7510	H29. 1. 12	11	11	11	11	11	CD-I型
隊	1 4 分団	トヨタ	800 せ 8915	Н31. 2. 13	11	11	11	"	11	C D− I 型 (可搬C−1 積載)
	15分団	いすゞ	88 ね 144	H10. 11. 30	11	11	11	"	11	CD-I型
	16分団	日野	800 す 9802	H19. 12. 17	11	11	11	11	11	IJ
	17分団	日野	830 そ 1017	H18. 12. 7	11	11	11	"	11	II
	18分団	トヨタ	800 난 1722	H21. 11. 16	11	11	11	"	11	C D− I 型 (可搬C−1 積載)
	方面隊本部車	ニッサン	88 & 9607	H10. 9. 28				ガソリン	1, 990	
	1 分団	トヨタ	800 난 4991	H25. 2. 6	モリタ	二段バランス タービン	A-2	軽油	4,000	CD-I型 (9000水槽付)
赤	2 分団	いすゞ	88 ね 897	H11.3.8	11	11	11	IJ	4, 570	CD-I型
堀 方 面	3分団	いすゞ	800 さ 2207	H12. 1. 31	11	11	11	11	11	II
隊	4分団	いすゞ	88 🕸 6896	Н9. 10. 13	11	11	11	11	11	II
	5 分団	いすゞ	88 & 6897	Н9. 10. 13	11	11	11	IJ	11	II
	6 分団	トヨタ	800 난 8191	Н30. 1. 19	11	11	11	11	4, 000	IJ

T.B	± = n) Ja	37.43 亚口	※ 妇欠口口	ポ	ン	プ	原動	协機	備考
所属	車両名	メーカー	登録番号	登録年月日	製作所	型式	級別	燃料	排気量	備考
	方面隊本部車	トヨタ	800 さ 4259	H12. 9. 13				ガソリン	3, 370	
東	1 分団	ミツビシ	800 す 2923	H15. 12. 5	モリタ	二段バランス タービン	A-2	軽油	8, 200	水Ⅱ型 (2,000ℓ水槽付)
方面隊	2分団	トヨタ	800 そ 188	R2. 11. 19	11	11	11	11	2, 980	CD-I型 (普通免許対応)
PA	3分団	トヨタ	800 せ 3619	H24. 1. 25	11	11	11	11	4, 400	C D — I 型
	4分団	トヨタ	800 난 6841	H28. 1. 25	11	11	11	11	4,000	11
	方面隊本部車	スズキ	88 そ 4758	H10. 3. 29				ガソリン	1, 590	
	1 分団	トヨタ	800 난 2081	H22.3.23	モリタ	二段バランス タービン	A-2	軽油	4,000	CD-I型 (900ℓ水槽付)
	2 分団	トヨタ	800 난 2762	H23. 1. 11	11	11	11	11	11	C D — I 型
	3 分団	いすゞ	800 さ 1271	H11. 10. 4	11	"	11	11	11	"
	4分団	いすゞ	800 さ 7620	H13. 9. 28	11	11	11	11	11	11
	5 分団	トヨタ	800 난 7511	H29. 1. 12	11	11	11	11	11	"
境	6 分団	いすゞ	88 & 6816	Н9. 9. 29	11	"	11	11	4, 570	11
方面隊	7分団	いすゞ	88 & 6817	Н9. 9. 29	11	11	11	11	11	11
PA	8 分団	トヨタ	800 せ 2763	H23. 1. 11	11	"	11	11	4, 000	11
	9 分団	いすゞ	800 さ 1272	H11. 10. 4	11	11	11	11	4, 570	11
	10分団	トヨタ	800 世 9552	R2. 1. 21	11	11	11	"	2, 980	C D - I 型 (普通免許対応)
	1 1 分団	日野	800 せ 5327	H26. 2. 5	11	11	11	11	6, 400	ホI-A型 (1,5000水槽付) (可搬C-1積載)
	1 2 分団	いすゞ	800 さ 7621	H13. 9. 28	"	"	"	"	4, 570	CD-I型
	13分団	トヨタ	800 난 6843	H28. 1. 25	"	II.	"	"	4, 000	CD−I型 (可搬C−1積載)
	1 4 分団	トヨタ	800 せ 3622	H24. 1. 25	II.	11	11	11	4, 400	C D - I 型

伊勢崎市消防団ポンプ車等の配備状況及び現有台数

	水槽付ポンプ車		普通ポンプ車			
水一Ⅱ型	水-I型	CD-I型	CD-I型	方面隊 本部車	合計	小型動力ポンプ C-1級
	A-2級		A-2級			
1	1	2	42	5	51	10

伊勢崎市消防団無線配備一覧表

(令和3年4月1日現在)

所 属	デジタル簡易無線機	消防救急デジタル受令機				
正副団長	4	4				
第1方面隊	23(本部3、10ヶ分団×2)	63(本部3、10ヶ分団×6)				
第2方面隊	25(本部3、11ヶ分団×2)	69(本部3、11ヶ分団×6)				
赤堀方面隊	14(本部2、 6ヶ分団×2)	38(本部2、 6ヶ分団×6)				
東方面隊	10(本部2、 4ヶ分団×2)	26(本部2、 4ヶ分団×6)				
境方面隊	31(本部3、14ヶ分団×2)	87(本部3、14ヶ分団×6)				
合 計	107	287				

[※]消防救急デジタル携帯無線機を各署(各方面隊)に2基、計10基を配備。

伊勢崎市消防団資機材配備一覧表

所 属	エンジンカッター	チェンソー	油圧救助資機材	排水ポンプ	救助用ボート
第1方面隊	1	1	1	1	1
第2方面隊	1	1	1	1	1
赤堀方面隊	1	1	1		
東方面隊	1	1	1	1	
境方面隊	1	1	1	1	2
合 計	5	5	5 5 3		3

1. 伊勢崎市消防団員年齢別状況

(令和3年4月1日現在)

18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳
0	3	9	4	10	6	8	6	10	10
28歳	29歳	30歳	31歳	32歳	33歳	34歳	35歳	36歳	37歳
13	11	14	21	24	14	31	19	37	32
38歳	39歳	40歳	41歳	42歳	43歳	44歳	45歳	46歳	47歳
30	37	46	22	32	33	36	18	32	17
48歳	49歳	50歳	51歳	52歳	53歳	54歳	55歳	56歳	57歳
27	16	17	13	8	6	10	3	3	3
58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳	67歳以上
4	2	4	1	0	1	1	0	0	3
							平均年齢	うち女性	合計
							39.4	34.6	707

2. 伊勢崎市消防団員階級別在団年数状況

(令和3年4月1日現在)

								\ , i	11.0 1/4.	- 1 - 2 - 1 - 2
階級	年数 吸別	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合計
寸	長						1			1
副	団長						4	2	2	8
分	団長			9	14	11	8	9	2	53
副	分団長			13	7	14	7	4		45
班	長		7	32	20	25	11	2		97
寸	員	24	125	138	110	66	28	10	2	503
合	計	24	132	192	151	116	59	27	6	707

3. 伊勢崎市消防団員の職業構成別状況

(令和3年4月1日現在)

農業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	卸売・小売・飲食店	サービス業	公務員	その他	合計
57	95	192	17	56	103	41	146	707

4. 伊勢崎市消防団員の就業形態別状況

(令和3年4月1日現在)

被用者	自営業	家族従業者	その他	うち学生	合計
472	113	64	58	11	707

5. 伊勢崎市消防団出動状況

(令和2年中)

						(14 11) = 1 1 7
区分	火災	演習訓練	特別警戒	警防調査	その他	合計
出動回数	323	889	55	49	1,409	2,725
出動延人数	1,518	5,555	156	259	5,297	12,785

6. 伊勢崎市消防団充足率

定数	実員	充足率
735人	707人	96.2%

消防関係団体



おうち時間 家族で点検 火の始末 (令和三年度 全国統一防火標語)

事故ゼロヘ トライ重ねる ワンチーム (令和三年度 危険物安全週間推進標語)

消防関係団体の現況

(令和3年4月1日現在)

名称	結成年月日	会 員 数	事 務 局
群馬県消防協会伊勢崎佐波支部 支部長 諏 訪 耕 平 (伊勢崎市消防団長)	S47.10. 1	1,115	消防本部総務課

(令和3年4月1日現在)

名称	結成年月日	会 員 数	事 務 局
伊勢崎地区危険物安全協会 会 長 古郡 登	H30. 4. 1	183	消防本部予防課

(令和3年4月1日現在)

名称	結成年月日	会 員 数	事 務 局
伊勢崎佐波防火協会 会 長 城 田 孝 雄	H 9. 4. 1	537	消防本部予防課

(令和3年4月1日現在)

名称	結成年月日	会 員 数	事 務 局
伊勢崎佐波少年少女防火委員会 会 長 鈴 木 義 人 (消防長)	S55.11.20	11	消防本部予防課

(委員構成:消防関係2名、消防協力団体8名、教育関係1名)

(令和3年4月1日現在)

名称	結成年月日	会 員	数	事	務	局
伊勢崎佐波救急医療連絡協議会 会 長 大 澤 誠 (伊勢崎佐波医師会長)	H10. 9.17	20		消防	本部救	急課

(委員構成:伊勢崎佐波医師会2名、告示7病院14名、伊勢崎市健康推進部長、消防関係3名)

女性防火クラブの現況

(令和3年4月1日現在)

名称	本部・支部名	班名	会員数(実数)
	本部		(6)
伊勢崎市女性防火クラブ 会 長 原 田 初 枝	伊勢崎第1支部	北班・南班・殖蓮班・茂呂班	73
	伊勢崎第2支部	三郷班・宮郷班 ・名和班・豊受班	88
	赤堀支部	北班・南班	50
結成年月日 平成17年4月1日 事務局 消防本部総務課	東 支 部	北班・南班	50
	境 支 部	北班・中央班・南班	74
		335	

※表中の()は兼務者を示す

(令和3年4月1日現在)

名称	結成年月日	会員数	事務局
玉村町女性防火クラブ 会 長 佐藤 佳 代	S50. 3.28	151	玉村町役場

少年消防クラブの現況

名称	結成年月日	会員数
西国定地区少年消防クラブ 指導者 松 原 義 樹	S55.11.20	51
平井地区少年消防クラブ 指導者 大 谷 恵美子	S58. 3.21	33
境上矢島地区少年消防クラブ 指導者 藤 村 辰 雄	S56. 4. 1	22